

計理士法案外二件特別委員會議事速記録第二號

昭和二年三月三日(木曜日)午前十一時二
十四分開會

○委員長(子爵會我祐邦君) 唯今カラ前回

ニ引續キマシタ計理士法案外二件ノ特別委
員會ヲ開キマス、計理士法案ハ前回ニ質問
ヲ致シマシタケレドモ、ソレハ其儘後日ニ
譲リマシテ、本日ハ商工會議所法案ニ移リ
マス、政府ノ御説明ヲ：前回ニ商工大臣
カラ本案ノ提出サレマシタ御説明ガゴザイ
マシタカラ直チニ質問ニ移ラウト思ヒマス

○松本勝太郎君 私ハ商工會議所ノ案ニ付
テ政府當局ノ御意見ヲ承テ置キタイト思
ヒマス、從來ノ商業會議所ノ設置シテアリ
マスル場所ノ中ニモ、此商業會議所ノ設置
ニ付テ非常ナル便宜ヲ得、又ナクテハナラ
ヌ機關トナリマシテ、有效ニ是ガ利用サレ
テ來テ居ル場所モアルノデアリマスガ、多
クノ設置シテアリマスル中ニ、殆ド無用ノ
長物視セラレテ居ルヤウナ場所モアルカノ
ヤウニ噂モ承ハッテ居ルノデアリマスルガ、
從來ノ經驗ニ依リマシテ、此點ノ政府ノ御
見解ガドウ云フモノデアルカ一應伺ッテ置
キタイト思ヒマス、尙ホ本法案ノ第四條ニ
依ッテ見マスルト、「會議所ヲ設立セントス
ルトキハ第十二條第一號ノ議員ノ被選舉權
ヲ有スヘキ者三十人以上ノ發起人ト爲リ其ノ
議員ノ選舉權ヲ有スヘキ者三分ノ二以上ノ
同意ヲ得テ創立總會ヲ開キ定款其ノ他必要
ナル事項ヲ定メ主務大臣ノ認可ヲ受クヘ
シ」、斯ウ云フコトニナッテ居リマスルガ、
此正規ノ手續ヲ履ンデ、認可ノ申請ヲ致シ
タナラバ必ズ御認可ニナルト云フコトニ決
マッテハ居ナイ譯デアリマスケレドモガ、

努メテ政府ハ之ヲ廣ク御認可ニナルト云フ
ヤウナ御方針デアリマセウカ、其點ヲ伺ッ
テ置キタイト思ヒマス

○政府委員(野村嘉六君) 松本サンノ第一
ノ御質問ハ、今日マデノ商業會議所ハ、其
機能ヲ十分ニ發揮セズニ、アッテモナクッテ
モ宜イヤウナ有様ヲ現ハシテ居ルヤウナ場
所モアルデハナイカ、斯ウ云フ點ニ對スル
御質問ノヤウニ拜承イタシマシタ、今日マ
デノ商業會議所ノ各所ノ成績ニ徴シマスル
ト云フト、相當ニ成績ヲ舉ゲテ居ル會議所
モアルノデアリマス、即チ地方ニ於ケル商
業家ノ集會所トナリ、或ハ又紹介ヲ致シタ
リ、或ハ商業會議所ノ本來ノ使命ヲ盡シテ
居ル商業會議所モアルノデアリマス、ソレ
カラ又一面御心配ニナッテ御質問ニナッテ通
リニ、商業會議所ノ機能ヲ十分ニ發揮セナ
イ商業會議所モ、實際ニ於テアルノデアリ
マス、併シアリマスガ、ソレナラバ何モセ
ナイカト斯ウ申シマスルト云フト、何モセ
ナイ譯デハナイノデ、仕事ハシテ居リマス
ケレドモ、社會ノ人ノ期待シテ居ル程ノ程
度ニ進ンデ居ラヌト云フ有様デアアルノデア
リマス、デ今回ノ改正モ此社會ノ人ガ期待
シテ十分ニ商業會議所ノ機能ヲ發揮シテ有
效ニヤッテハドウデアアルカト云フ、此意見、
批評ガ商工省ヲシテ、今回新ラシク商工
會議所ヲ設ケシメル立案ノ心ヲ起シタ一ツ
ノ動機ニナッテ居ルヤウナ次第デアアルノデ
アリマス、今御尋ノ商業會議所ガ十二分ノ
機能ヲ發揮セヌノハ色ノ關係ガアリマス
ガ、一ツハ商業會議所自身ノ努力ノ足ラヌ
ノモアリマスガ、今一面カラ法規ノ制定ガ

十分ニ機能ヲ發揮セシムルヤウナ定メ方ヲ
シテナイ、即チ法制上ノ缺陷ガ商業會議所
ヲシテ十分ノ活動ヲ阻止スル惧ガアル、此
點ヲ考慮イタシマシテ、今回斯ク改正シタ
ナラバ、十分ニ其機能ヲ發揮セシムルコトガ
出來ルデアラウト云フ要點ニ觸レマシテ、
改正シタヤウナ次第デアリマス、即チ松本
サンノ、所ニ依ッテハ十分ニ發揮シテ居
ラヌ、發揮シテ居ラヌノワドウシテ發揮セ
シムルカト云フ此懸念カラ改正シタヤウナ
次第デアアルノデアリマス、第二問ノ商業會議所
ノ設立、是ハ新シク設立スル場合デアリマ
スルガ、設立ノ申請ガアリマシタ曉ニハ十
分ニ調査ヲ致シマシテ、サウシテ許可ヲ決
スル考デアリマス、即チ其地方ニ於テノ取
引ノ實狀ニ鑑ミマシテ、果シテ商工會議所
ヲ設ケテ、商工業ノ發達ヲ助長セシムルダ
ケノ必要ガアルカナイカ、此點ヲ十分ニ調
査シテ許可ノ意見ヲ定ムル考デアリマス、
餘リニ狭クテ、殆ド商工業トシテモ微々タ
ル所ニ設置スルト云フヤウナコトハ、却テ
經費ノ負擔其他ノ爲ニ迷惑ヲ來タシテ、一
面左程ニモ商工業ノ爲ニナラヌヤウナコト
ガアッテハナリマセヌカラシテ此點ハ十分
ニ考慮シテ、サウシテ新シク願ヒ出ルモノ
ニ對スル意見ヲ定ムル考デアリマス

○和田彦次郎君 唯今松本委員ヨリ御尋ニ
ナッタ點ニ對シテ御答ヘニナリマシタ所ヲ
承リマスレバ、從來多數ノ商業會議所中、
其機能ヲ十分ニ發揮シナイモノガ往々アッ
タ、ソレハ種々ノ事情モアリ、一ツハ：：：
事情ノ一ツトシテハ、法令ガ十分働キヲ爲
スニ適當デナイ法令デアッタガ爲ニ爲シ得

ナイ實狀ヲ來タシタノモ、一ツノ原因デア
ルト云フヤウニ御説明デゴザイマシタガ、
其從前ノ機能ヲ發揮スルニ甚ダ支障ガアル
ヤウナ風ノ條文ヲ今度ハ改メテ、十分ニ發
揮セシムルヤウニスルノガ今回ノ改正スル
理由ノ一ツデアアルト仰有ル、其條項ハドレ
ヲドウ云フヤウニ御直シニナッタノデアリ
マスカ、ドノ點ヲ從來アッタノガ面白クナ
イカラ、今度ハ斯様ニ改メテ、サウシテ其
不備ヲ補ヒ繁ヲ救フコトニシタカト云フコ
トヲ伺ヒタイ

○政府委員(野村嘉六君) 是ハ今和田サン
ノ御質問ノドノ點ガ惡カッタカ、サウシテ
ソレガ著シイ誰ガ見マシテモ大缺點ト、斯
ク思惟スル箇條ト申シマスルト云フト、中
困難デアアルノデアリマシテ、當局ノ見ル
所ニ依ルト云フト、有ラユル方面、有ラユ
ル法制ノ關係ニ於キマシテ十分デナカッタ、
ソレガ相寄ッテ、常ニ從來ノ商業會議所ノ
機能ヲ十分發揮セシメナカッタノデアアリ
ハセヌカ、斯ウ云フ考ヲ有ッテ居ルノデア
リマシテ、其主ナル點ニ對シマシテ申上ダ
マスレバ、或ハ當局ト致シマシテ、從來ノ
商業會議所ノ施設ニ對シテ餘リニ干涉、干
渉ト申シテハ言葉ガ惡イカモ知レマセヌガ
色ノ法規ヲ以テ、即チ認可許可ノ權限ヲ以
テ自由ノ活動ヲ拘束スルト云フ風ナ點モア
リハセナカッタカト思フノデアリマス、即
チ從來ハ一々商業會議所トシテ施行シヤウ
ト思ウテ居ル點ニ對シテ認可ノ制度ヲ採ッ
テ居ル、思フニ、良シイコトニ致シテ認可
スルノハ當然デアリマスガ、其間ニ機宜ヲ
失シテ、即チ時機ヲ失シテ、效果ヲ十分ニ

舉得ナカタヤウナコトモアリハセナイ
カト思ウテ居リマス、ソレカラ又土地ノ事
情ヲ十分ニ調査シテ認可ヲ致スノデアリマ
スガ、併シ商業會議所ノ希望ト副ハ又點ガ
アツカモ知レマセヌ、大體ニ於テ非常ニ
認可制度デアリマシテ、此自治體ノ自治的
ノ自由ノ天地ニ活動スル商業會議所ニ對シ
テ非常ニ認可制度ヲ採ツタ結果、十分ニ活
動ヲ阻止シハシナイカト云フ懸念モアリマ
ス、故ニ其點ニ對シテ、今度ハ認可制度ヲ
殆ド廢シマシテ、サウシテ自治ノ本能ヲ發
揮セシムルヤウニ致シタヤウナ次第デアリ
マス、例ヘテ申シマスルト、會議所ヲ設立
イタシマスルノニモ、從來ハ發起ノ認可ガ
アツテ、ソレカラ更ニ設立ノ認可ガアル、斯
ウ云フヤウナコトハ、是ハマダ活動ノ前提
ニ屬スル話デアリマスガ、既ニ設立ノ時カ
ラ、發起ノ認可ノ、其上ニ設立ノ認可、ソ
レカラ又役員選任ノ認可、或ハ議員ノ解任
ノ認可、過怠金賦課ノ認可、選舉權及被選
舉權停止ノ認可、營造物設立ノ認可、及ビ其
他商工業ノ發達ニ必要ナル施設ヲ爲スノ認
可、斯ノ如ク非常ニ認可制度ヲ採ツテ居ル、今
度ハ是等ヲ廢止シマシテ、サウシテ自治體
ノ本能ヲ發揮セシムルコトニ致シタイ考デ
アリマス、思フニ、是等モ十分ニ機能ヲ發
揮セシメナカタ幾分ノ障リヲ爲シテ居ハ
セヌカト考ヘル次第デアリマス、ソレカラ
又選舉制度デアリマス、選舉制度ニ致シマ
シテモ、商工業ノ發達ト共ニ商工業ヲ爲シ
テ居ル人ニ對シテ選舉權ヲ附與シテ、廣ク
知識ヲ求メテ、サウシテ之ニ參加セシムル
ト云フコトハ時勢ニ順應シタ方法デアラウ
ト思フテ居リマス、所ガ、今日マデノ選舉
方法ハ時勢ニ果シテ適應シテ居ルトモ認ム
ルコトハ出來ヌノデアリマス、ソレカラ又
其他此國際關係ニ於ケル商工業ノ發達機

關、即チ帝國商工會議所ヲ設ケマシテ對外
的ニモ發達セシメ、又役員制度ニ於キマシ
テモ、從來ノ役員ノ選舉制度ニ鑑ミマス
云フト、動トモスルト、仕事自體ヨリハ役
員選舉ガ互ニ爭ヲナシテ、能力ハ多クハ其
方ニ使ハレテ居ルヤウナ所モナカタデハ
ナイ、是等モ緩和政策ヲ用キテ適切ニ改正
イタシタイト云フヤウナ考デアリマス、要
スルニ、今回ノ改正ノ全體ニ互リマシテ、
機能ヲ發揮セシムル必要上斯ク企テタヤウ
ナ次第デアルノデアリマス、從ヒマシテ二
三ノ箇條デアリマシタナラバ、從來ノ商業
會議所法ニ修正ヲ加ヘテモ宜イノデアリマ
スガ、今申シマス數箇條ニ互ツテ、サウシ
テ、ソレハ十數十箇條ニ關係ヲ持ツノデア
リマスカラ、從テ寧ロ新シク拵ヘテ、サウシ
テ機能ヲ發揮セシメタ方ガ宜イダラウト云
フ考ヲ以テ改正イタシタヤウナ趣旨デアリ
マス

○男爵伊藤文吉君 唯今ノ御質問ニ關聯シ
テ、此際チヨット御伺ヒ致シタイと思ヒマ
スガ、今モ御質問ガアリマシタ通り、從來
商業會議所ノ機能ガ十分ニ發揮セラレナ
イ、或ハ無益ノ機關デハナイカト云フ批評
ガ可ナリ多イノデアリマス、其會議所法ニ
依リマスルト、會議所ノ經費ノ徵收モ強制
徵收デアリマス、餘リ益ヲ受ケナイ機關ニ
對シテ、一般有權者ハ強制的ニ經費ヲ徵收
セラレルト云フヤウナ批評モナキニシモア
ラズデ、殊ニ最近種々ノ税金ヲ收メルノ
ニ、地方ニ於テハ相當苦痛ヲ感ジテ居ルヤ
ウナ現狀デアリマス、當局ニ於テハ本案ヲ
起草セラレルニ當リマシテ、或ハ從來ノ認
可制度ヲ廢シテ、寧ロ商工業者ノ任意ナル
會員組織ニスルト云フコトニ付テ御研究ニ
ナリマシタカ、若シソレニ付テ御研究ニナ
リマシタラバ、本案ノ如キ認可制度ト、會

員組織トノ利害得失ニ付テドウ云フ御考ヲ
持タレテ居ルカ、ソレヲチヨット伺フテ置キ
タイと思ヒマス

○政府委員(野村嘉六君) 御尋ノ點ニ對シ
マシテ研究イタシマシタ所ニ依ルト、外國
ニ於テハ矢張り會員組織ノ所モアルノデア
リマシテ、ソレ等ヲ參考ニ致シマシテ研究
イタシタノデアリマスガ、兎ニ角我國ニ於
キマシテハ、明治確カ十年ト思ヒマスガ、出
來マシタノハ十一年デアリマスガ、ソレ以
來現行組織ノ下ニ進ンデ來テ居ルノデアリ
マシテ、相當ノ經歷ヲ經、又ソレニ對スル
習慣モ出來テ居リマス、殆ド現在ノ制度
ハ、第二ノ……何ト申シテ宜イノデアリ
マスガ、國民間ニ熟知セラレタル一ツノ觀
念ヲ形成シテ居ルヤウナ關係ニナツテ居ル
ノデアリマシテ、ソレデ外國ニアル所ノ會
員組織ヲ採テ以テ此制度ニ代ヘルト云フ
コトハ、如何カト考ヘマシテ、其點ノ關係
ハ餘程研究イタシタ結果、矢張り在來ノ法
制ニ改正ヲ加ヘタ方ガ宜イノデアルト云フ
考カラ致シタヤウナ次第デゴザイマス

○男爵伊藤文吉君 私人手許ニ商業會議所
聯合會ノ名ヲ以テ、本案ニ對スル修正要項
ガ五項目出テ居リマス、是ハ六大都市ノ商
事會議所聯合會ノ意見デアリマシテ、相當
權威アルモノト思フノデス、其修正要項ハ、
第一、法案中第八條第三項商業部及工業部
ニ關スル所ノ規定ヲ削除スルコト、此修正ニ
依リマスルト、商業會議所内ニ商業部工業
部ヲ置クト云フコトニナツテ居ルガ、是ニ
對シテ聯合會デハ部ヲ置クト止シテ貫
ヒタイ、斯ウ云フノデアリマス、是ガ第
一……第二、法案第十三條中「五十人以上」
トアルノヲ「六十人以上」ト改メタイ、是ハ
議員ノ數ヲ増シタイト云フ意見デアリマ
ス、ソレカラ第三ハ法案第十四條中二現行

商業會議所法第九條第四項(人頭制)ノ規定
ヲ存置スルコト、此問題ハ可ナリ重大ナ影
響ノアルモノト思ヒマスノデ、是ニ付テモ
政府ノ御意見ヲ伺ヒタイノデアリマス、第
四ハ法案第三十三條中顧問ニ代ヘテ「特別
議員」ノ制度ヲ復活スルコト、但シ官選議
員ハ之ヲ廢スルコト、第五、法案第二十八
條中第一項但書及第五十七條ノ但書ヲ削除
スルコト、是モ相當重要ナ改正事項ト思ヒ
マスノデ、是ニ對シテ當局ノ御意見ヲ此際
伺フテ置キタイと思ヒマス

○政府委員(野村嘉六君) 唯今御尋ノ點ハ
新聞デモチヨットサウ云フ意見ノ記事ガア
タヤウニ思ヒマスガ、正式ニ此問題ガ意見
トシテ出テ居ルヤウニ御述ベニナリマシタ、
此點ニ對シマシテ當局ノ意見ヲ申上ゲマス
ルガ、尙ホ私ノ説明ニ分ラヌコトガアリマ
シタナラバ、幸ニ草案ニ參加シマシタ政府
委員モ居リマスカラ、其足ラヌ所ハ其政府
委員カラ申上ゲルコトニ致シマス、此商業
部工業部制度ノ廢止ト云フコトデアリマス
ガ、當局ト致シマシテハ、先ニ御答ヘ致シ
マシタ通り……和田サンニ御答ヘ致シマシ
タ通りニ機能ヲ十分發揮セシムル趣旨デア
ル、ソレニハ機能ヲ十分發揮セシムルニハ
最も便利ナル方法、最も確實ナル方法、
最も迅速ニ行ハレル方法、斯ウ云フ風デ
ヤツタ方ガ機能ガ十分ニ行ハレル一端デ
ハナイカ知ラヌト思フ、即チ今日デハ申
スマデモナク、商業上ノ關係ト工業上
ノ關係ハ大體ニ於テ分解セラレテ居リ
マス、商業上ノ知識ヲ要ス點ニ於キマシ
テハ、其部會ヲ定メテ置キマスト云フ
ト、直チニ商業上ニ關係スル事務ガ進捗ス
ル譯デ、又工業部ニ關スル問題モ是亦同様
デアリマス、工業部ニ關スル施設事項其他ノ
關係ニ於キマシテ、其法自體ニ專門ノ違

テ居ルモノニ對シテ其部ヲ分ケテ置イタナ
ラバ、總テノ取扱ニ於テ便利デアル、ソレ
デ商業部ト工業部ヲ一緒ニ致シテ置キマス
ト云フト、常識ノ觀念ニ於キマシテモ、是ガ
商業ニ關スルカ、工業ニ關スルカト云フコ
トガ、選ビ出ス上ニ於キマシテモ、觀念ニ
於キマシテ不便ガアル、一々部分ケニシテ
置イテ、サウシテ又問題ガアレバ直チニソ
レデ調査スル、審査スル、進メル、照會者
ガアツナラバ照會ニ對シテ應ズル、斯ウ
云フヤウニシテ置イタ方ガ私ハゴツチャニ
シテ置クヨリ非常ニ便利デアルト、是ハ常
識ノ觀念ニ於テ斯ク感ズルノデアリマス、
サウシテ單リ商業トカ何トカニ止マラズ、
建議スルヤウナ場合、諮問ニ應ズルヤウナ
場合、商工業兩方ニ堪能ナ人モアリマスガ、
併ナガラ又商業ニ堪能デアツテ工業ニ堪能
デナイ人モアルカ知ラヌ、經驗上ニ於
テ……其時ニ調査スルニ致シマシテモ、諮
問ニ應ズルニ致シマシテモ、其部其部デ意
見ヲ定メテ置イタ方ガ最モ便利デナイカ知
ラヌ、工業上ノコトハ工業上ノ知識經驗ア
ル者ガ便宜デアリ、商業上ノコトハ商業上
ノ知識經驗アル者ガ便宜デアル、而モ是ハ
必ズ置カナケレバナラヌト、斯ウシテアリ
マスニ云フト、例ヘテ見ルト云フト、小サ
イ商業會議所ニ於テ商業部ト工業部ト二ツ
ニ分ケル、斯ウナレバ、店飾リバカリ大
キクテ内容ガ貧弱デ經費ノ負擔ガ多クテ、
サウシテソレダケノ機能ヲ發揮スル機會モ
餘地モナイト云フノデ、聊カ無用ノ關係ノ
ヤウナ觀念モ致シマスガ、此本法ハ置カナ
ケレバナラヌト云フ制度デハナイノデアリ
マシテ、置クコトガ出來ルト云フ制度デア
リマスカラ、置カナクテモ差支ナイノデア
リマスカラ、東京トカ、大阪トカニ云フヤウ
ナ非常ニ此商業工業ノ都會地デアリマシ

テ、サウシテ是等ニ於テゴツチャニスルヨ
リハ部分ケニシタ方ガ私ハ便利ナリト、併シ
斯ウ云フヤウナ都會デモ置ク必要ガナイト
御考ヘニナツタ時ハ置カナクテモ差支ナイ
ノデアリマス、地方ニ於テモ同様デアリマ
ス、置クコトガ出來ルト云フノデアリマシ
テ、置カナケレバナラヌト云フ規定デハナ
イ、詰リ便宜ヲ圖ツテノ規定デアリマシテ、
私ト致シマシテハ、否ナ當局ト致シマシテ
ハ、適當ナル改正ト信ズルノデアリマス、
決シテ強ヒル法律デハナイノデアリマス、
ソレカラ第二ノ……

○男爵伊藤文吉君 ちょつと申上デマスガ、
全體ニ付テ今此商業會議所聯合會ノ意見ノ
全體ニ付テ御尋ネ致シマシタガ、便宜上一
ツツニ付テ質問應答シタ方ガ便宜デアラ
ウト思ヒマスガ、委員長如何デゴザイマス
○委員長(子爵會我祐邦君) 宜シウゴザイ
マス

○男爵伊藤文吉君 唯今政府委員ノ御答デ
ハ、商業會議所聯合會ノ改正ノ理由トハ少
シ違テ居ルヤウニ思ヒマス、商業會議所
ノ聯合會ノ言フ所ニ依ルト、此商業部工業
部ヲ置イテ兩方ガ各、建議又ハ答申ヲ爲ス
ヤウナ途ヲ開クト云フト、商業會議所ノ意
見ノ統制ヲ缺クト斯ウ云フ意見デアリマス、
其點ニ付テ御説明ガナカッタノデアリマス、
又置カナクテモ宜イカラ云々ト云フ御答モ
アリマシタガ、サウナレバ殆ド此條文ハ空
文ニナリハシナイカト思フノデアリマスガ、
其點ヲモウ一應伺ヒタイ

○政府委員(野村嘉六君) 第一ノ統一ヲ缺
キハセヌカト云フ御尋デアリマスケレド
モ、私ハ商業上ニ關スル……是ハ置イタ場
合デアリマスガ、商業上ニ關スルコトニ付
テ、此際ニ於テ其商業部ニ於テ意見ヲ發表
スル、サウシテ商業ニ關スルコトハ矢張り

商業部ノ人ノ方ガ總テニ於テ經驗ガアリ、
ソレカラ又利害關係ニ對シテハソレ以外ノ
人ヨリハ私ハ宜シイダラウト斯ウ云フ考ヲ
持ッテ居ル、又經驗モ持ッテ居ル、利益ノ關
係モ直接デアリハシナイカト斯ウ云フ觀念
ヲ持ッテ居リマスカラ、私ハ此間ニ抵觸ス
ルコトハナイト思ヒマス、ソレカラ更ニ第
二問ノ置カナクテモ宜イナラ拵ヘル必要ハ
ナイジヤナイカト斯ウ云フ御質問ニ伺ヒマ
シタガ、置カナクテモ宜イノヲ……ソレト
同時ニ又置イタ方ガ必要ナ所モアリマス、
置イタ方ガ必要ナ所モアリマス、其處ガ彈
力性ノアル法律ヲ拵ヘタト云フコトガ、所
謂最モ活動ヲ望ム當局ト致シマシテ、最モ
商業會議所ノ活動ヲ望ム其精神ノ溢レナリ
ト御承知ヲ願ヒタイ、置カナクテモ宜イ所
ハ置カナクテモ宜イガ、置ク必要ノアル所
ハ置イタ方ガ、ソレダケ詰リ商工業ノ發達
ノ爲ニ利益デアル、此考カラ出タ次第デア
リマス

○男爵伊藤文吉君 第二ニ付テ御意見ヲ承
リタイ

○政府委員(野村嘉六君) 第二點ハ五十名
デハ人数ガ少イ、今少シク大キク澤山ニシ
テ六十名位ニシタ方ガ宜イデハナイカ、斯
ウ云レ御質問デアツタノデアリマス、議論
ノ立テ方ニ依リマシテハ六十名ナリ七十名
モ、多々益、多クナツテモ宜イ場合ガアル
カモ知レマセヌ、併ナガラ大體ニ於キマシ
テハ五十名ガ適當ト存ジマシテ、ソレモ最
大多數五十名以下トシテ、所ニ依ッテハ二
十名、或ハ三十名、斯ク致シテ其數ヲ定ム
ル方ガ宜シイ、今日アリマス商業會議所ニ
於キマシテ多クハ三十名、是ガ一番多イノデ
ス、所ニ依ッテハ漸ク二十名シカ居ラヌ所
モアル、ソレデ三十名ノ所ハ五十二箇所ア
ル、法律ヲ拵ヘマス以上ニハ普遍的ニ一般

的ニ見マシテ、サウシテ其最大多數ノ狀態
ニ鑑ミテ一般ノ法律ヲ作ルノガ當然ト思
フノデアリマス、今申シマス通りニ、現今
ノ狀態ニ於テハ極ク少イ所ハ漸ク二十名、
ソレカラ其他ハ多クハ三十名、而モ七十七
箇所ノ中デ五十二箇所マデモ三十名デア
ル、漸ク二十名ト云フ所ガ東京外四箇所
ニシカ過ギナイ、斯ウ致シマス云フト、
現在ニ於キマシテ七十七箇所ノ中デ漸ク五
十名デアル、斯ウ致シマス云フト、全般
ノ觀念ニ於キマシテハ、先ヅ五十名ガ最大
限デ適當デアリハセヌカ、斯ウ云フ風ナ先
ヅ大體ニ於テノ觀念デアル、ソレカラ今一
ツハ、何分是ガ豫テ伊藤男爵ノ御話ノ通り
ニ寄附ノ強制徴收デアリマス、嫌デモ應デ
モ出サナケレバナラヌト云フ譯デアリマス
カラシテ、之ニ對シマシテモ議員ノ數ガ多
ケレバ從ッテ費用モ餘計掛カルト云フ虞ガ
アルノデアリマスカラシテ、サウシテ一面
強制徴收デアリマスカラシテ、此點ヲモ考
慮シタヤウナ次第デアリマス、然シ根本ト
致シマシテハ、兎ニモ角ニモ五十名マデト
云フ規定ノ現存スルニ拘ラズ、全體カラ見
マスルト云フト、七十七箇所ノ中デ五箇所
ヲ除クノ外ハ皆ナ三十名トカ二十名トカ、
是ガ實際ノ現實デアリマス、此現實ニ鑑ミ
テ見マスルト云フト先ヅ五十名ガ最大數ト
シテ適當デアリハシナイカ、斯ウ思フ次第
デアリマス

○男爵伊藤文吉君 唯今ノ御説明デ全國ノ
商業會議所中五十人ノ議員ヲ置イテ居ルモ
ノハ五箇所ニ過ギナイ、斯ウ云フ御論デア
リマスガ、此六大都市ニ於テハ有權者モ多
クテ、從來ノ經驗上六十人位ニシタイト云
フ希望デアリマスナラバ、六十人ト爲
サツテ置イテモ、必要ナル箇所ニ於テハ從

來ノ如ク三十人、二十人トスルデアリマセウ、斯ウ云フヤウナ何方デモ宜イヤウナ問題ハ、成ルベク此商業會議所ノ方ノ希望ヲ容レラレル方ガ穩當デハナイカト思ヒマスガ、其點ハ如何デアリマスカ

○政府委員(野村嘉六君) 御尤モト存ズルノデアリマスルガ、實際ニ鑑ミマシテ、兎モ角モ七十箇所ノ中デ殆ドガ三十人、二十人ト云フ現在デアアル、斯ウ致シマシタ以上ハ、之ヲ五十名ト云フ最大限ヲ定メテ置キマスレバ又其間ニ調和ガ取レハセヌカ、斯ウ云フ考ヲ有テ居リマス、即チ殆ド十中ノ九マデガ三十人位デ、議員ノ數ニ付テハ差支ナク其地方ノ諸種ノ關係ニ於テ認メラレテ居ルノデアリマスカラシテ、當局ト致シマシテハ大局カラ見マシテ、先ヅ五十人ガ最大限デアアル、併シ若シ特別ノ場合ヲ認メマシタナラバ、或ハ百人ニシテモ宜イ所ガアルカモ知レマセヌ、大體ニ於キマシテハ十中ノ殆ド十マデガ今申シマスヤウナ次第デアリマスカラシテ、其觀念ニ基イテ現行ノ通りニ定メテ次第デアリマス

○委員長(子爵會我祐邦君) 唯今カラ休憩イタシマシテ、午後一時カラ引續キ開會シテ質問ヲ繼續イタシマス

午後零時五十分休憩

午後一時十五分開會

○委員長(子爵會我祐邦君) ソレデハ唯今ヨリ午前二引續イテ商工會議所法案ヲ審議イタシマス、午前カラ伊藤男爵ノ御質問ノ繼續ガゴザイマスケレドモ、伊藤君ガ居ラレマセヌカラ他ノ御方ノ御質問ヲ……

○森平兵衛君 ソレデハチヨット政府委員ニ御尋フ致シマスガ、過日ノ本會議デモ大體ノコトヲ御尋ネシタノデアリマスルガ、商工大臣ノ答辯ガモ一ツ要領ヲ得ナカッタ、

ソレデ甚ダ諄イヤウデアリマスルガ、要點ヲ御尋ネシテ成ルベク簡潔ニ御答ヲ得タイト思フノデアリマス、會議所法ノ改正ハ、前刻野村參議官カラノ御話モアル通り、成ベク會議所ノ本來ノ機能ヲ全ウスル爲メ改正ヲシタト云フ御趣旨デアアルノデアリマス、ソレガ爲メ從來ノ認可制度モ省キ、又隨分自治權モ與ヘテアルト云フコトニナッテ居ルノデアリマスルガ、私ハドウモ唯、認可……會頭ヲ選舉シタトカ、或ハ又役員ノ認可ヲ省イタトカ云フヤウナコトデ、極ク末節ダケノ自治權ヲ御認メニナッテ、根本的ノ海外先進國ノヤウナ會議所ノ機能ヲ十分認メテ御居デニナラヌト思フノデアリマス、此間本會デモ御尋フ致シマシタ通り、商事行政ノ一部……商事行政事務ノ一部ヲ委任スルコトガ出來ヌモノカ、ドウカト云フコト、第二ハ諮問事項ヲ法規上ニ限定ヲ致シテ、是レ是レノコトハ會議所ニ必ズ諮問ヲスル、云フコトヲ假リニ茲デ設ケタ場合ニハ、政府ハ何カ弊害ヲ醸成スルト云フコトヲ御認メニナッテ、サウ云フモノヲ御加ヘニナラナカッタモノカ、第一トシテソレダケノコトヲ御尋ネ致シマス

○政府委員(野村嘉六君) 今ノ御質問ハ、本會議ニ於テモ御質問ニナッタ點デアアルノデアリマスガ、商工會議所ニ行政ノ一部ヲ委任シタ方ガ宜イデハナイカ、斯ウ云フ御質問デアアルノデス、大體ニ於キマシテハ本會議デ大臣ガ答辯サレタ通りデアリマシテ、他ノ法規ノ關係、其他法制ノ立方等ノ立場カラ、商工會議所ニ行政ノ一部ヲ委任スルコトハ、其時機デナイト云フ簡單ナル答辯ガアッタノデアリマス、併シ此答辯ハ私ハ今日ノ場合ト致シマシテハ、矢張り行政ノ一部ヲ商工會議所ニ扱ハシムルト云フコトハ其當ヲ得ナイモノナリト思フノデア

リマス、ト申シマスノハ、申スマデモアリマセヌ、嚴重ナル法規ノ上ニ商工會議所ハ出來テ居リマスガ、併シ何分本體ガ自治體デアリマシテ、隨テ自治體ノ立場カラ商業工業ノ機能ヲ發達セシメ、又商業工業ノ助成ヲ爲スト、斯ウ云フ趣旨ニ出來上ッテ居ルノデアリマス、所ガ、行政廳ノ商業工業ニ對スル職務ト云フモノハ、申スマデモアリマセヌ、行政廳トシテ監督又ハ商業工業ノ發達、是等ハ行政廳ノ立場トシテ、サウシテ職務上之ニ關係スル業務ヲ執ッテ居ルノデアリマスカラシテ、今自治體ノ商工會議所ニ是等ノ權限ヲ直チニ委任スル、此事ハ先キニ本會議ニ大臣モ述ベラレマシタ通りニ、他ノ法規ノ關係カラ申シマシテモ是ダケ引離シテサウシテ自治體ニ委任スルト云フコトハ當ヲ得ナイデアラウ、然ラバソレニ對スル緩和劑ハ何カナイカ、此趣旨ニナリマスレバ其內容ニ於テハ行政府トシテ商業工業ニ關スル所ノ施設ヲ致ス上ニ於テ、利害關係其他ノコトハ商業會議所ニ諮問シテ、サウシテ其回答ヲ待ツソレゾレ施設ヲスル、茲ニ法規ニナッテ居リマスノデアリマスカラ、縱シヤ商工業會議所ニ委任セナクトモ、其商工會議所ノ欲スル內容ハ實際ニ於テ行フコトガ出來ルノデアリマス、ソレデアリマスカラシテ縱シヤ商工會議所ニ行政ノ一部ヲ委任セナクトモ其效果ヲ舉ゲ得ルコトガ出來ル、斯ウ思フノデアリマス、唯單ニ形式上委任ヲ受ケテ、サウシテ行政廳ト同一ナル權限デアルト云フ權能ガ假ニ付與サレマシテモ、他ノ然ラバ行政ノ鈞合、其點カラ見マシテモ飛ビ離レマシテ妙ナ關係ヲ生ズルノデ、今日ノ法制ノ立場カラモ甚ダ面白クナイ感ガ致ス、要スルニ其實ヲ收ムル上ニ於テ效果ガアレバ私ハ宜シイ、ソレデアリマスカラ今日ニ於テハ行政ノ事務ノ一部ヲ直チニ委任スルト云フ

コトハドウデアラウカ、併シ斯ウ申上ダマシテモ實際ニ於テ必要ナ點モアルデハナイカト云フ問題ガ出マスデアリマセウガ、此點ニ對シマシテハ此法案ガ通過イタシマシタナラバ、實際ニ於テ行政廳ノヤルノト同ジヤウナ結果ニナリハセヌカト思ハレマス、帝國商工會議所ガ今度新シク設ケラレマシタガ、是ガ愈實行サレタ曉ニハ、例ヘテ見マスレバ從來ハ外國ニ對スル博覽會ニ加入スルトカ、見本市ニ加入スルトカ、是等ノ對外關係ニ於ケル行政廳ノ活動ヲ要シタ場合ガ間ミアリマス、行政廳ガ直チニ活動スルノハドウデアラウカト云フ懸念ガアルノデアリマスガ、是等ノ問題ガ將來起リマシタ時ニハ、此帝國商工會議所ヲシ其テ任ニ當ラシメテ、サウシテ行政廳ガヤツタト同ジ效果ヲ舉ゲ得ル場合ガ多アルコトデアラウ、斯ウ考ヘマス、ソレカラ第二ノ問題、是ハ此商業工業ニ關スル將來ノ立場ニ對シテハ是非商工會議所ニ諮問セナケレバナラヌ、商業上ニ關スル立法行政、ソレカラ又工業上ニ關スル立法行政、是等ニ對シマシテハ總テ商工會議所ノ議ヲ諮問スルニ非ズンバ建議ニ基ク意見ヲ採用スルトカ、又ハ諮問ノ回答ヲ基礎ニスルト云フ風ニ強制的ニ改メタラドウデアラウト云フ御意見ガアッタノデアリマスガ、是モデス、私今日迄ヤツテ居ル點ニ對シマシテハ、森君ハ本會議ニ於テドウモ都合ノ良イ所ヲヤツテ、都合ノ惡イ所ハヤラヌヤウナ傾キガアルト云フ御意見モアリマシタガ、私ハ兎ニモ角ニモ商業工業ノ發展ヲ期スル上ニ於テ、是ハ本體タル商工會議所ガ意見ヲ發表スル、意見ヲ表市スル、此意思ハ十分ニ尊重シテ、サウシテ諮問事項ニ對シマシテモ建議事項ニ對シマシテモ、行政廳ガ施設セントスル其行爲ノ參考ト云フヨリハ

寧ろ参考以上ニ進シテ意味合ヲ以テ、建議並ニ諮問ニ對スル目的ヲ達セシメタ方ガ宜シ、之ヲ是ガ非デモ商工會議所ニ諮問シテ其諮問通りニスベシ、其建議通りニスベシ、又斯ウ云フ案ニ付テハ必ズ諮問セナケレバナラヌ、斯ウ云フ點ニ付テハ必ズ意見ヲ容レナケレバナラヌ、斯ウ致シマスルト云フト或ハ行政廳ノ機能ヲ完カラシメヌト云フヤウナ兎角虞モアリマスシ、又商工會議所ガ總テ全部ガ同一ノ意見デアレバ結構デアリマスガ、所ニ依テ反對ノ意見ノ存スルモノガナイトモ言ヘナイ、ソレカラ商業會議所ノ自治體ノ商工業ニ對スル意見ヲ十分ニ尊重スルト同様ニ、行政廳ガ是等ノ施設ニ對スル意見モ尊重シ、兩々相俟テサウシテ進メタ方ガ、却テ必ズ採用スベシ、必ズ諮問スベシト云フ限定的ノ法規ヨリハ、却テ彈力性ガアツテサウシテ活動ノ餘地ガ多イコトデアラウ、斯ウ云フ風ニ考ヘタ結果斯ク規定シタヤウナ次第デアリマシテ、尊重スル意味合カラ諮問スルト云フヤウナ規定モ拵ヘ、又建議ヲシテ貰フト云フヤウナ規定モ定メタヤウナ次第デアリナデアリマス

○國務大臣(藤澤幾之輔君) 行政ノ一部ヲ商工會議所ニ委任スルト云フコトニ付テハ先日本會議ニ於キマシテ私カラ答辯イタシマシタシ、又唯今參與官カラ御答辯ヲ致シマシタ、大體ハ盡キテ居ルコトデアリマスガ、併ナガラ之ヲ簡單ニ補テ置キタイト思ヒマスコトハ、森君ノ外國ノ事例ヲ引イテ御述ベニナリマシタコトニ付テハ、勿論私共ハ之ヲ排斥スルト云フガ如キ意思ハ持テ居ラナイノデアリマシテ、將來ノ問題ト致シマシテハ、商業ニ關スル國ノ行政ノ一部ヲ商業會議所ニ委任スルト云フコトハアツテ然ルベキモノデアラウト信ズルノデアリマス、唯如何ナル種類ノ國ノ行政ニ倣フカ、或ハ幾多ノ國ノ此點ニ關スル事例ヲ綜合研究イタシマシテ、獨特ノモノヲ發揮スルト云フコトニ付キマシテハ十分ナル攻究ヲ遂ゲタ上ニ致シタイト考ヘルノデアリマシテ、御述ベニナリマシタ外國ノ事例ハ幾多アルデアリマスガ、其ノ中ノ一ツヲ直ニ取ツテ之ヲ採用スルト云フコトニナリマセヌカラ、尙ホ是ハ十分ニ考究イタシタイト考ヘマス、尤モ例ヘバ商品陳列館ノ如キモノヲ、會議所ノ聯合會ヲシテ開設經營セシムルガ如キコトヲスルトカ、或ハ外國ノ博覽會ヤ、若クハ見本市ニ國ガ參加スル場合ニ、事務ヲ帝國會議所ニ之ヲ委任スルト云フヤウナ如キコトハ、私共モ矢張り至當ノコトデアラウト思ヒ居ルノデアリマスカラ、是ハ暫ク考究ノ時間ヲ與ヘテ戴キタイト思フノデアリマス、唯、現在ダケノコトヲ申上ゲタノデアリマスカラ、將來ニ付テハ森君ノ御意見ハ十分ニ尊重イタシテ、攻究イタスト云フコトヲ申上ゲタイノデアリマス

○森平兵衛君 唯今私ノ質問ニ對シマシテ商工大臣並ニ參與官ヨリ懇篤ナル御説明ガアリマシテ、一應了解シタノデアリマス、私ノ質問ノ要旨ハ、要スルニ從來ノ商業會議所ガ先刻松本君ガ言ハレタ通り、或ル一部カラ殆ド無用視セラレテ居ルカノ如キ觀ガアルカラ、此際商工會議所ト云フ名前ニ改メテ、以テ其内容ヲ充實サセテ商工業ノ發展ニ資スルコトニ御改正ニナルナラバ、今一步進デ商業會議所ニ義務ヲ負ハセル、權利バカリ與ヘルノデアリマセヌ、義務ヲ與ヘル、而シテ以テ權利ヲ認メテヤルト云フコトガ至當デハナイカ、大正十五年ノ調査ニヨリマシテモ、全國ノ商業會議所ノ使ッテ居リマスル費用ハ、約二百萬圓以上

ノ經常費ニ達シテ居ルノデアリマス、此ノ額ハ決シテ少クナイノデアリマス、此ノ額ハ決シテ少クナイノデアリマス、而シテ之ヲ徵收スルニ付テハ國稅滯納處分ノ權利マデ附與シタル一ツノ公法人デアアル、先刻野村參與官カラ言ハレタ中ニ、ドウモ現在ノ商業會議所ニ商工事務行政ノ一部ヲ委託スルト云フコトハ幾ラカ時期ハ尙早デナイカト思フト云フ御話モアツタノデアリマス、私モ現在、尙早ト云フコトニ認メレバ認メラレヌコトモアリマセヌガ、既ニ會議所ハ明治三十五年ニ法ヲ制定ニナリマシテ、約二十有餘年間ニ日本ノ各地ニ存在シテ來タツタノデアリマス、其間ニ或ハ或ル内閣ノ時代ニ經費徵收權ヲ剝奪セラレ、隨分會議所ハ色々辛酸ヲ嘗メテ、漸ク今日之ヲ繼續スルコトガ出來タノデアリマス、既ニ政府ニ於テモ此世運ノ進歩ト共ニ、自治ノ行政ヲ認メルト云フコトニナツテ、各市町村ニ於テハ行政ノ一部ト云フモノハ全然御委任ニナツテ居ルノデアアル、是ハ或ハ府縣知事ガ監督シ、又內務大臣ガ監督ヲシテ居ラレマスガ、ソレトモ自治ノ機能ヲ與ヘテ居ル、然ルニ商工業ダケノ機關ニ、今日ノ場合ニ於テ此商事行政ノ一部ヲモ、會議所ニ義務ヲ負ハセナイト云フコトハ私ハ國家トシテノ損失デヤナイカト思フ、ソレデ商事行政ノ全部ヲ私ハ委任シテ貰ヒタイト云フ希望ヲ述ベテ居ルノデアリ、商事行政ノ一部、前回ニモ申上ゲマシタ通り、或ハ其土地ニ於ケル同業組合ノ監督トカ、或ハ重要輸出品ノ検査トカ、或ハ證據若クハ商標、或ハ證據ハ土地ノ裁判所或ハ商標ニナリマスレバ、皆ナ特許局ガ權利ヲ持ッテ居ルノデアリマス、然ルニ特許局ノ許シタ商標ニ於テ隨分審判ヲ仰グト云フコトモアル、是ハ官吏デアツテ、商標ハ唯從來ノ出願ノ商標ニ抵觸スル

カ否ヤト云フコトヲ御調ベニナツテ居ルニ過ギナイ、大阪ナラ大阪、東京ナラ東京、名古屋ナラ名古屋ノ慣習ガアル、又ソレニ登錄ヲセラレテ居ル居ラヌニ係ッテ居ル、然ルニソレヲ特許局ガ許可シテ居ルト云フ實狀デアアル、斯様ナモノノ一部ヲ商業會議所ニ諮問シテ、ソレデ其商標ノ登錄ノ許可ヲ與ヘルト云フコトモ一便法デハナイカト私ハ思フ、私ハ權利バカリヲ會議所ニ與ヘルト云フノデハナイ、斯ノ如キ多大ノ經費ヲ使ッテ居ル商業會議所ニ幾ラカ義務ヲ負ハセ、以テ商業會議所ノ機能ヲ發揮セシメルト云フコトガ商工業發展ノ爲デアリ、又國家ノ爲デハナイカト思ヒマス、ソレデ先刻野村參與官ノ御話デ、他ノ法規ニ抵觸スルト云フ意味ノ御話モアツタガ、今日具體的ニドウ云フコトノ法規ノ爲ニ、此商業會議所ハサウ云フ一部ノモノヲ委セラレナイカト云フコトハ、唯今御答ガ出來ナカッタラ、御調ベノ上デ御答ニ預リタイト思フノデアリマス、ソレト諮問事項モ斯ク斯クノコトハ必ズ諮問スルト云フコトモ、是モ會議所ノ義務デアアル、權利デヤナイ、若シモ會議所ニサウ云フコトヲ政府ガ御諮問ニナツテ、何時何日答申セヨト御命令ガアツテ、會議所ガ答申セナカッタト云フナラバ、會議所ハ其モノノ機能ヲ無視シテ居ルノデアルカラ、サウ云フ時ニハ政府ガ御斷行ニナツテモ宜イノデアアル、然ルニ今日マデノ實狀ヲ見マスレバ、過般モ申上ゲマシタ通り、甚ダ言葉ハ失禮デアリマスガ、政府ノ御都合ノ宜シイ時分ニハ御諮問ニナリ、時間ガナイト云フ場合ニハ御諮問ノナイコトガアルノデアリマスカラ、寧ろ之ハ斯ウ斯ウ云フモノハ諮問スルゾヨ、之ニハ答申セニヤナラヌ義務ガアルゾト云フコトヲ明記スルト云フコトガ、私ハ會議所ニ義務ヲ負ハシ

テ、以テ權利ヲ認メテヤルト云フコトニナリハシナイカト思フ、ソレニ付テモ一度御答ヲ煩シタイト思ヒマス、ソレカラ、モウツ序デナガラ御尋ネ致シマスルガ、會議所法ト云フヤウナモノハ是ハ事務的ノ法律デアル、何等政府ノ豫算ニモ關係ナシ、又他ノ法律ニモエラウ低觸スル箇條モ認メナイ、斯ウ云フ法律ガ改正ニナルナラバ、多數ノ會議所ノ意見デアリ、政府案ト幾ラカ違タ所ガアレバ、之ヲ法規ニ入レルニ客カナラヌコトガ政府トシテハ宜イ措置デハナイカ、他ノ法規ニ關係イタシマシテ、非常ニ是ガ斯ウ云フコトヲ改正シタ場合ニハ民法ノ第何條ニ違反スル、或ハ商法ノ第何條ニ關聯スルト云フコトナラバ、大イニ考慮ヲ要セヌケレバナリマセヌガ、今會議所カラ請求ノ案ヲ見マシテモ、之ヲ全部容レマシタ所ガ、政府トシテハ何等他ノ法規ニ關係スルコトハ私ハナイト思フ、故ニ政府ハ會議所ノ請求シテ居ル改正案ニ付テハ、何處迄モ改正ヲ爲サラナイ御趣旨デアルカ、序デニ伺ヒタイト思ヒマス

○政府委員(野村嘉六君) 前半ニ對シマシテハ、是ハ大臣カラ答辯ガアリマシタカラ、私ガ彼レ是レ申ス必要ハナイノデアリマスガ、要スルニ、大臣ノ御説ハ、行政事務ノ一部ヲ商業會議所ニ委任スルト云フ森サンノ御意見ハ御尤モデアアルガ、マダ時期ガ早イ、斯ウ云フ御答辯デアッタノデアリマシテ、私モ大臣ノ御意見ト矢張り同様ニ思フノデアリマス、ソレデアリマスカラ此點ハ……ソレカラ他ノ問題、即チ商工會議所ニ對シテ諮問スベキ事項ヲ限定シタラ宜イデヤナイカ、限定セナイト云フト商工省ノ自分ノ都合ノ好イ問題ニ對シテハ、諮問ヲスルケレドモ、都合ノ惡イヤウナコトニナルト商工會議所ヲ拔キニシテ勝手ニ定メ

テシマフ、ドウモ偏頗デアッテ面白クナイ斯ウ云フ御意見デアリマス、アリマスガサウナリマススト云フト從來ドウ云フ法案ガ果シテ商工會議所ノ諮問ヲ經ズニ、商工省ノ都合ガ好クテ商工會議所ノ都合ガ惡クツカト云フヤウナ具體的ノ問題ニモ及ンデ参ルコトニナルノデアリマスガ、ソレハ扱テ置キマシテ免モ角此事項此事項ニ關シテハ、必ズ商工會議所ノ諮問ヲ經ルベシト斯ウ限定ノ規定スルノハ果シテ良イカ惡イカ、私ハ規定ガナクテモデス商業工業ニ關係スルコトハ此本法ノ運用ニ依テ必ズヤ諮問サル、モノ、又ハ諮問ニ對シテノ御答ハ商工會議所ガ責任ヲ持ツモノナリ、斯ウ信ズルノデアリマス、強ヒテ諮問セナケレバナラヌト云フコトヲ行政廳ニ負ハセ、強ヒテ答辯セナケレバナラヌト云フコトヲ商工會議所ニ負ハセルト云フコトハ自治ノ本能ヲ發揮スル上ニ於テ如何ナルモノデアラウカ、自治ノ本能ヲ發揮スルニハ寧ロソコニ彈力性ヲ有セシメテ置イテ、サウシテ商工會議所ノ機能ヲ發達セシムル方ガ宜イデヤナイカ、又現ニ建議モ出來ルノデアリマスカラ、諮問ヲセナイ事項ニハ進ンデ商工會議所ガ建議モ出來ル規定モコ、ニアルノデアリマスルカラシテ、十分ソレデ以テ其間ノ緩和ハ取レルデアラウ、斯ウ云フ考ヘヲ持チマス、ソレカラ今ノ御話ノ他ノ法規ト何處ガ抵觸シテ居ルカ、抵觸ト云フト詰リ法律ノ違反ニナリマスガサウ云フ意味デハナシ、私ノ申シタノハ今迄ノ行政廳ノ立前ガ商工會議所ニ自治ノ一部ヲ許シテ居ルト同時ニ、他ノ場合モ多クハサウ云フ立前ニナッテ居ルト斯ウ云フ輕イ意味デ申上ゲタノデアリマス、只今ノ御質問ヲ綜合スレバ森サンハ餘程進ンダ御考ヘデ、進ンダ頭デ、サウシテ其事ヲ此法規ノ中ニ改正スル序デダ

カラシテ入レタラバドウデアラウカ……斯ウ綜合的ニ觀察シタ方ガ宜シイト斯ウ思ヒマス、御尤デ進ンダ御意見ハ歡迎ハ致シマスルガ、現在ニ於キマシテハ、先程午前中ニ私ガ申上ゲマシタ通り、現在ノ法規ニ基イテスラモ、洵ニ活動ガ鈍ッテ居ル、サウシテ果シテ總テガ商工會議所ノ機能機能本領ヲ諒解シテ居ルヤ否ヤ、斯ク申上ゲレバ非禮ニ當ルカモ知レマセヌガ、所ニ依テハサウ云フ關係ガナイトモ言ヘヌノデアリマス、要スルニ法律ヲ拵ヘマス時ニハ現在ニ即シテ、將來ノコトヲ慮ルニ相違アリマセヌガ其將來モ矢張り是モ程度問題デアリマシテ、後日森サンノ御意見通りノ時期モ到來スルコトデアリマセウガ、今コ、當分ノ内ハ先ヅ現行法ニ一歩ヲ進メタ程度ガ適當デアリハセヌカ、斯ウ考ヘタ結果今ノヤウナ趣意ニ致シタ次第デアリマス

○森平兵衛君 御答ハ能ク分リマシタガ政府委員ノ御答デハ要スルニ只今ノ商工會議所ノ現狀ニ於テハ、商事行政ノ一部ヲ委託シ若クハ諮問事項ヲ限定スルト云フコトハ、時期尙早ト云フコトニ解シマシテ宜シイデアリマセウカ、念ノ爲ニ御尋ネ致シマス

○政府委員(野村嘉六君) 本日現在ニ於キマシテハ、此法規ヲ以テサウシテ此行政事務ノ一部ヲ委任スルト又法規ヲ以テ更ニ諮問事項ヲ限定スルト、斯ウ云フコトハマダ其時期ニ達シテ居ラス、寧ロ此事ハ自治體ノ本領ト又此案ノ第七條ノ活用ニ基イテ其目的ヲ達シ得ルモノガアル、斯ウ云フ考ヲ持ッテ居ル、即チ商工會議所ハ其目的ヲ達スル爲ニ商工業ニ關スル通報、商工業ニ關スル仲介又ハ斡旋、商工業ニ關スル調停又ハ仲裁、商工業ニ關スル證明又ハ鑑定、商工業ニ關スル統計ノ調査及編纂、商工業ニ關スル營造物ノ設置及管理其他商工業ノ改

善發達ヲ圖ルニ必要ナル事業、此法規ニハ斯ノコトヲセヨト云フコトハ書イテアリマセヌガ、具體的ノ内容ノ行フベキ事實自體ガ第七條ニ於テ明記シテアルノデアリマスカラシテ、之ヲ活用イタシマシタナラバ實際ニ於テ森サンノ御心配ノコトガナシ違ダラレル、斯ウ云フ考ヘヲ持ッテ居リマス

○森平兵衛君 其質問ハソレ以上申上ゲマスト論議ニ互リマス、矢張要スルニ時期尙早ト云フコトニ歸著スルト私ハ考ヘルノデアリマスカラ其問題ハソレテ打切りマス

○國務大臣(藤澤義之輔君) 一寸私ハ……時期尙早トノミ打切ラレ申シテハ甚ダ困ルノデアリマスガ、一言私モ……私共ハ第七條ト第八條ノ運用ニ依テ、必要ニ從テ行政ニ屬スル一部ノ事務ヲ、分リ易ク言ヘバ會議所ニ委任スルト云フ……委任スルト云フ言葉ハ大變喧シクナリマスケレドモ、扱ハセルト云フコトハ私モ是デ出來ルノデアアルト考ヘマス、第八條ノ商工會議所ハ行政廳ノ諮問ニ對シ答申スベシ、斯ウアッテハ商工會議所ニ義務ヲ負ハセタノデ、ソレハドウ云フ義務ヲ負ウタカト言ヘバ商工會議所ハ商工業ニ關スル事項ニ付テ、何カ政府ガコ、ニ商工業ニ關スル立法ヲ致スト云フヤウナ場合ニ於テ、先ヅ以テ商工會議所ノ意見ヲ質シ、サウシテ意見ヲ參酌イタシマシテ立法ヲ致ス、左様ナ場合ニ於キマシテハ商工會議所ハ之ニ對シテ答辯ヲ致サナケレバナライ義務ガアリマス、又政府ノ方ニ於キマシテ自分勝手ニ自分ノ都合ノ好イコトハ諮問ヲシヤウガ、サウデナイコトハ措イテ願ミナイ、斯ウ云フヤウナコトガアル時ニハ勿論ノコトデアリマスシ、然ラザル場合ニ於テモ商工會議所ノ意見ガアリマシタ時ニ於テハ、商工會議所ハ此第八條ニアル本條ニ從ヒマシテ、行政廳ニ建議スル

コトヲ得ト詰リ言葉ハ建議デアリマスケレドモ、商工會議所ノ意見若クハ主張ヲ貫ヌク手段ヲ取ルコトガ出來ル途ガ開カレテアルノデアリマス、ソレカラ第七條ノ方ニハ色ミナ列記法ヲ採テアリマスガ、列記法ト云フノハ一體甚ダ困難ナモノデアリマシテ、總テデコ、ニ現ハシ得ルモノデヤナイノデアリマスルカラ、ソコデ第七項ノ「其ノ他商工業ノ改善發達ヲ圖ルニ必要ナル事業」ト斯ウ云フコトガアルノデアリマシテ、ソレデ世ノ中モ段々進ンデ參リマシテ事實御意見ノヤウナ譯デアアルノデアリマスカラ、斯ウ云フコトハ商工會議所ニ委託シテヤッテ貰ハウ、ア、云フコトハ商工會議所ニヤッテ貰ハウト云フヤウナコトニナリマシタナラバ、是デ矢張り私共ハ實行ガ出來ルト思フノデアリマシテ、唯仰セニナクテ外國ノ事例ノ如キモノヲ、今日此法ニ立法スルト云フコトハ容易ノコトデハゴザイマセヌ、尙ホ一段ノ調査ヲ進メタ上ニ、左様ナ規定ヲ必要トスルトキニハ之ヲ規定イタシタイ、斯ウ云フ譯ナンデアリマシテ、全然御説ノ如キ事柄ガ此法律デ行ヒ得ナイモノデアルト云フ意味デハナイノデアリマス、ソコデアリマスルカラ仰ノ如キ趣旨ガ時機尙早採用ノ出來ヌ、斯ウ云フ意味デハナイノデアリマス、ドウカ御諒解ヲ……

○森平兵衛君 商工大臣ノ御説明モ能ク諒解イタシマシタガ、併シ從來ノ法規ト、今回ノ此第七條並ニ第八條及ビ第一條ト云フヤウナモノトハ、解釋ニ依リマスレバ大シテ改善ガナッテ居ラヌ、ソレデ之ヲ活用スルヤ否ヤト云フコトハ、矢張り政府當局及ビ商業會議所自身ノ矢張り活動ニ俟タンケレバナラヌコトハ勿論ノコトデアリマス、併シ唯今商工大臣ノ御説明ノ如ク、斯ウ云フコトヲ列記シテ居レバ、私ガ御註文

申スヤウニ具體的ニコ、ニ法規ニ現ハサヌデモヤレルデハナイカ、斯ウ云フ御意見ノヤウナコトガアツタヤウニ思フノデアリマスガ、併シ從來ノ法規ト今回ノ法規ト私等ハサウ大差ハナイカト思フ、ドウシテモ矢張り此明文ニ具體的ニ現サヌコトニハ、義務ヲ負ハスコトモ出來ニヤ、權利ヲ認メルコトハ出來ヌト自分デハ思フノデス、ソレ

デ商工大臣ニ於テ斯ノ如キ法文ニ於テモ、之ヲ活用スルコトニ努メタナレバ前ノ目的ハ達シ得ルコトガ出來ルデアラウト云フ御説モ、一應ハ御尤デアリマス、併シ從來ノ御ヤリ方、又會議所ノ機能カラ見マスレバ中モ是ハ云フベクシテ出來ナイノデアアル、又第三者ニ於テモ斯ノ如キ權利ノアルモノト認メテ居ラヌノデアリマスカラ、私ハ今回ノ改正ニ際シテ重大ナル事項ヲ委任スルコトハムツカシクテモ、セメテ一部ノ權限ヲ認メ、又諮問ト云フコトニ付テハ政府モ義務ヲ負フコト云フコトガ、是ガ會議所ノ機能ヲ發展サスト云フコトニ付テ、一番重大ニシテ而カモ考ヘナケレバナラヌ問題デアルト思ハレマス、ソレデ私ハ尙ホ御尋ネ致シタイノハ今日迄會議所ノ機能ヲ見テ居リマスルト、監督官廳ハ商工省デアリマス、併シ昨年南洋貿易會議ト云フモノヲ外務省主催デオ開キニナツタ時分ニモ、矢張り會議所ノ代表者ヲ御招集ニナリ、又稅制……稅ノコトノ關係ニナル場合ニハ大藏省カラ御諮問ニナルコトモアリ、又鐵道ノ運賃ニ關シテモ會議所ヲ利用シテ調査ヲ命ゼラレテ居ルコトモアツタ、遞信省ニ對シテ電力ノ問題或ハ農林省ニ對シテノ米穀法其他矢張り商事ニ關係スルヤウナコトノ御諮問、又我々ガ意見ヲ開陳スルコトガ多イノデアリマス、ソレデ他ノ諸官省ニ於テモデスナ、商工省バカリデナク他ノ諸官省ニ於

テモ、尙ホ今回ノ改正ニ際シテ會議所ニ此行政ノ一部或ハ諮問事項ノ限定ヲスルト云フコトヲ御認メニナラヌノデアリマスカ、是ハ委員長ニ於テ明日ノ……次ノ委員會ニ於テ其當局ノ御答辯ヲ煩ハサレムコトヲ私ハ希望スルノデアリマス

○政府委員(野村嘉六君) 午前中ニ伊藤男爵カラノ御質問ニ對シテマダ答ヘテ置カナカッタ點ガアリマスカラシテ、其點ヲ御答ヲ致シマス、御質問ノ第三ハ人頭割有權者、之ヲ今度削除イタシマシタ、此點ニ對シマシテ商業會議所聯合會ハ、此廢止ガ當ヲ得ナイ、斯ウ云フ意見ガアルガ之ニ對シテハ當局ハドウ考ヘテ居ルカト云フ御質問デアッタノデアリマス、第三ハ……、當局ト致シマシテハ、此規定ノ廢止ガ實際ニ於テ適當デアアル、斯ウ考ヘマス、ト申シマスノハ法人ガ營業イタシテ居リマスル以上ハ法人トシテ既ニ議員選舉ノ資格モアルシ、又議員ニ現ニナリ得ル權利モアル、又役員ニナリ得ル權利モアルノデアリマス、是ハ改正案モ、ソレカラ現行ノ商業會議所法案モ同一デアリマス、所ガ從來ハ此上ニ尙ホ其法人ノ役員ニ、議員選舉ノ資格、役員ニナル資格、是等ヲ與ヘテアツタノデス、私ノ考ヘマス所ニ依レバ、商業ヲ營ム者ニ權利ヲ與ヘルノデアリマスカラシテ、商業ヲ營ムト申シマスレバ則チ其法人自體ガ商業ヲ營ンデ居ルノデアリ、隨ヒマシテ此法人ガ自然人デナクとも、商業ヲ營ムト云フ點カラ此者ニ選舉權ヲ與ヘ、議員資格ヲ與ヘ、役員資格ヲ與ヘルト云フノハ是ハ當然ト思ヒマス、併ナガラ其營業シテ居リマス其執行機關タル重役ハデス、其法人ノ重役ノ範圍ニ於テ再ビ其人ニ議員資格ヲ與ヘ、役員ノ資格ヲ與ヘルト、斯ウナリマスフト二重ニ與ヘルコトノ結論ニ陥リハセヌ

カト思フ、他ノ法人ナラザル自然人ニ於キマシテハ、無論自然人其人ガ營業シテ居リマシタナラバ、其人ニ同様選舉權ヲ與ヘ、議員ニナル權利ヲ與ヘ、役員ニナル權利ヲ與ヘテ居ルニ拘ラズ、法人ナルガ故ニ法人ニモ同一ノ權利ヲ與ヘ、法人ノ業務ヲ執行スル機關ニモ同一ノ權利ヲ與ヘルト云フコトハ、多數ノ自然人カラ見たナラバ、全ク二重ニ權利ヲ與ヘル、而シテ重役ト云フモノハ多クハ立派ナ人ガナッテ居リマスガ、併シ……重役ト云フモノハ多クハ立派ナ人ガナッテ居リマスガ、其人ノ權利ヲ持ッテ居ル範圍ト云フモノハ、即チ他ノ營業者ノ職務ヲ執行スル、惡ク言ヒマスレバ使用人、宜ク言フテモサウナルカ知ラヌガ、要スルニ法人ノ營業ヲ執行スル機關デアアル、是ニ特殊ニ與ヘルト云フコトハ議論ノ上カラ申シマシテモドウモ穩カナラヌヤウニ考ヘルノデアリマス、若シ其重役ナルモノガ選舉權ヲ得、又議員ニナル權利ヲ得、役員ニナル權利ヲ得タケレバ、得タケレバデヤナイ多クノ場合ハ其人ハ會社ノ重役トシテヨリハ社會的ニ色ミノ税金ヲ納メテ、其結果當然多クノ場合ハ資格ヲ得テ居ルノデアアル、デスカラシテ其方ノ點デ其權利ヲ行使シタナラバ、別ニ法人ノ重役ナルガ故ニ二重ノ權利ヲ與ヘルト云フノハ、他ノ自然人等トノ比較カラ申シマシテモ當ヲ得ズ、又法人自體ノ性質カラ見マシテモ當ヲ得ズ、又營業者本體カラ見マシテモ當ヲ得ナイヤウニ思ハレル、ソコデ今回ハ此法規ヲ除キマシテ、サウシテ法人ナラバ法人ダケニ權利ヲ與ヘル、主ニ此場合ハ法人ノ利害得失ヲ代表スルモノト信ゼラレマスカラ、法人ノ利害得失ヲ代表スルモノナラバ、法人ノ代表者トシテ十二分ニ機能ヲ發揮スルコトガ出來ルデアラウ、サウシテ法人ガ役員ニモナレバ、議員ニモナレルコト

ニ矢張りナッタノデアリマス、斯ウ云フ考ヘカラ致シタ次第デアリマス

○男爵伊藤文吉君 唯今ノ政府委員ノ御答辯ニ依リマスルト、此條項ノ改正ハ全ク純理論ニ根據ヲ置カレテ居ルヤウニ拜承イタシマス、併シ現行法ニ既ニ斯ウ云フ規定ガアル以上ハ、其當時相當ノ理由ガアツテ置カレタモノト思ハレル、此度改正セラレマシタ點ニ付キマシテハ、現行法ノ規定ヲ置カレタ其理由ガ、既ニ時代ノ推移ニ依ッテ消滅シタト云フ理由ガアリヤ否ヤ、今ノ時勢ニ於テハ斯カル現行ノヤウナ規定ヲ置クコトハ最早必要ハナイト云フヤウニ御認メニナリマスカ、又一面ニハ現行法ノ規定ニ依ッテ是等ノ人々ニ選舉權ヲ與ヘルコトガ弊害ガアル、現在斯ウ云フ弊害ガアル故ニ此度ノ改正案ニ於テハ削除スル方ガ宜イト云フヤウナ御説明デモアリマスナラバ、其點ヲ御伺ヒシタイト思ヒマス

○政府委員(吉野信次君) 只今ノ御質問ニ私カラ御答ヲ致シマス、此現行法ノ第九條ノ規定デゴザイマスガ、何セ三十五年ノ制定ニ係ルノデアリマシテ其當時ノ立法ノ理由ハ、實ハ詳細ニ分ッテ居ラヌノデアリマスガ、今度ノ商工會議所法ヲ立案スルニ付キマシテ色々研究ヲ致シタノデアリマス、大體此法律案ハ現行法ハ古い、色々法律ノ理論ノ上カラ、又其後ノ時勢ノ状況カラ見テ違ッテ居ル點、改正ヲ要スベキ點ト云フモノヲ一通リ整理ヲ付ケヤウ、斯ウ云フ根本ノ主義ヲ以テ今度ノ案ヲ編ンダ、其根本ノ主義カラ第九條ヲ研究シテ見マス、思フニ明治三十五年ノ當時ニ於キマシテハ、此法人ト云フ理論ガ明確デナカッタノデアリナイダラウカ、法人ガ實在スルモノデアルト云フ説ヲ取リマスレバ、商業會議所ノ議員ニモ役員ニモ、法人其物トシテ、其無形

ナ會社デモ、法人其物トシテ議員ニモナレル、又役員ニモナレル、サウシテ當時ノ理論ガ法人ガ實在デナイ、假リニ在ル物デアツテ法人ト言フテモ、誰カ個人ガ矢張り議員ニナリ、役員ニナラヌト云フト、其當時ノ觀念カラ申シマスツラナイ、斯ウ云フヤウニ其法人ハ擬制デアルト云フヤウナ考カラ申シマス、ドウシテモ法人ヲ代表スル個人ト云フモノヲ議員ナリ役員ナリト云フ風ニ、個人ニ權利ヲ持タセナケレバナラヌト云フ結果ニナルノデアリマス、其當時ノ古イ外國ノ事例ナドヲ分ル限リニ於テ調ベテ見マス、外國ノ立法例ハ此場合ニ商業會議所ノ構成ニ付テ、此會社ニ法人ヲ其議員ニスルト云フヤウナ場合ニ於ケル立法例ハ二タ色アリマシテ、會社其物トシテ：：：法人其物トシテ權利ヲ認メルト云フ立法例ト、會社其物ニハ認メナイ、法人ニハ認メナイ、法人ハ無形ノ物デアラカラ認メナイ、法人ノ代表者タル個人ニ權利ヲ認メテ居ルト云フ立法例ト、一ツアツヤウデアリマス其當時：：：是等ノコトカラ考ヘマシテ、理論ガ稍明確デナイノト、詰リ其外國ノサウ云フ兩方ノ立法例モアリマシタ結果、矢張り無難ニ兩方漠然ト權利ヲ認メテ置イタ方ガ宜イノデハナйкаト云フ位ノ考デ置イタモノデハナйка、斯様ニ妄斷カモ知レマセヌケレドモ、私共ハ考ヘマシタ次第デアリマス、諸テ理論ハ其通りデアリマシテ、既ニ法人ニ權利ヲ認メル以上ハ法人ノ代表者タル個人ニ權利ヲ認メル必要ハナイト云フコトノ理論ニ付キマシテハ、今日多ク議論ハナカラウト思フノデアリマス、唯實際長年ノ間、其法人ノ代表者タル個人ニ、サウ云フ權利ヲ認メテ居ッテ、ソレガ何ノ不都合ガアルカト斯ウ云フ第二段ノ御尋ニナルノデアリマスガ、別段ニ不

都合ハナйкаモ知レマセヌ、併ナガラ先程申シマシタ通り、第一、根本ニ於テ餘リ理論上オカシイ所ハ直シタイト云フ頭デ居リマシタモノデスカラ之ヲ直シタイ、ソレカラモウ一ツ會社ノ重役タルヲ以テ當然ニ議員ニナレルト云フコトニナレバ、重役ト云フ一ツノ階級ト云ヒマス、職業ト云フカ、サウ云フモノヲ法制上有權者トシテ認メルト云フコトニナリマス、權衡上必シモ第九條一項ニ掲ゲタル如キ會社ニ限ラナイノデアリマシテ、今日ノ言葉デ申シマスレバ、頭腦：：：頭ヲ以テ仕事ヲスルト云フ人ハ、矢張り同ジヤウニ商工業ニ關スル限リハ認メテ宜イデハナйкаト云フヤウナ權衡ノ論モアツタノデアリマス、實ハ此人頭割ニ付キマシテハ相當ニ此會議所ノ經費ノ中デ、現ニ東京ナリ大阪ナリニ於キマシテハ、相當多イ部分ヲ占メテ居ルノデアリマスカラ、從ッテ斯ウ云フモノニ權利ヲ與ヘナケレバ經費ガ取レマセヌカラ會議所ノ方ノ財政上、其當座ハオ困リニナルノデハナйкаト云フコトモ考ヘマシタケレドモ、只今申シマシタヤウニ理論ノ研究ト、ソレカラ今日ノ時勢カラ見マシテ、唯頭ヲ以テ會社ノ重役ト云フ職業ヲスルダケデ、商業會議所ノ議員ノ有權者ニナルト云フコトハ如何デアラウカ、斯ウ考ヘマシテ實ハ現行法ノ人頭割ニ關スル議員ノ權利ハ削除シタヤウナ次第デアリマス、立法ノ經過ハ只今私ガ述ベマシタヤウナ次第デアリマス

○政府委員(野村嘉六君) ソレカラ第四ノ午前中ノ御質問ニ御答ヲ致シマス、第四ハ特別議員ノ制度ヲ存置スルコト、此御質問デアツタノデアリマス、現行法ノ特別議員ヲ廢シマシテ顧問ニ致シマシ理由ハ、此特別議員ノ今日ノ實際ノコトヲ彼是レ申スノハ或ハ當ヲ缺イテ居ルカモ知レマセヌケレドモ、實際ノ事實カラ見マスルト云フト、特別議員ト云フモノハ餘リ總會其他ノ會議ニ出席スルコトガナイノデアリマス、極ク少イノデアリマス、此點ハ既ニ是ハ實際ニ鑑ミテノ話デアリマスガ、此點ハ既ニ特別議員トシテ置クノハドウデアラウカト云フ觀念カラ、今一ツハ特別議員トシテサウシテ會議ニ出席シテ普通議員ト同ジ權能ヲ發揮セシムトスルニハ、免モ角モ實際ニ於テ多ク出テ來マセヌノデアリマシテ、其效能ガ十分ニ發揮セヌト云フ現在ノ有様デアリマス、併ナガラ商業會議所ノ議員トシテ從來經驗モアリ、又社會カラモ信用ヲ得テ居ルヤウナ人ノ其意見ナリ經驗ナリヲ有利ニ商工業ニ注込ムト云フコトハ確カニ宜シイコトデアラ、ソレデアリマスカラシテ、寧ロ斯ウ云フ、商工業ニ於テ多クハ先輩ノ人ガ今日ヤッテ居ルノデアリマス、其先輩ノ人、經驗ガアツテ、社會カラ信用ヲ得テ居ルヤウナ人ハ、議員ノ一人トシテ機能ヲ發揮セシムルヨリハ寧ロ顧問トシテ、サウシテ當時商工業ニ對スル意見ヲ求メ、商工業ニ對スル過去ノ經過ヲ聞キ、サウシテ是等ノ人ニ對シテ尊敬ノ念ヲ拂ッテ、不斷ニ其人々ノ長所ヲ注入シテ實方ガ實際ニ於テ宜シクナイカ、斯ウ云フ考カラ寧ロ總會ニ出テ、サウシテ他ノ議員ト同ジ機能ヲ發揮セシムルヨリハ、當時顧問トシテ、サウシテ機能ヲ發揮セシメテ實方ガ立場カラモ亦便宜ノ上カラ申シマシテモ宜シイヤウニ考ヘタノデアリマス、從ヒマシテ今後ハ特別議員ヲ廢シテサウシテ顧問ヲ置クト、ドツチカト申シマス其地方地方ノ商工業ニ關スル練達堪能デアツテ、サウシテ先輩ノ人ヲ有利ニ其御方々ノ知能ヲ商工業ニ注込ンデ貰フ、斯ウ云フ考カラ此制度ヲ改正シタヤウナ次第デゴザイマス、ソレカラ第五ニハ例

ノ會頭副會頭ノ問題デアリマシテ、此會頭副會頭ヲ議員ナラザル人カラ選ブ、斯ク致シマス以上ハ自治ノ權能ヲ拘束スルノデナイカ、自治ノ權能ヲ減縮スルノデハナイカ、即チ商工會議所ガ出來タ曉ニハ其商工會議所ノ自治ノ範圍カラ出テ、サウシテ會頭乃至副會頭ノ事務ヲ執ルト云フノガツレガ適當デナイカ、之ニ關係ノナイ、議員資格ノ無イ者ヲ外カラ會頭乃至副會頭ヲ持テ來ルト云フコトハ、自治ニ對スル一ツノ不當行為デアリハセヌカ、斯ウ云フ議論ガアルノデアリマス、商業會議所ノ意見モ意味ハサウ云フ風ニ書イテアッタヤウニ考ヘマス、併シハ決シテ商工會議所ノ自治ノ觀念ヲ阻害スルモノデモ何デモナイ、寧ロ自治ノ觀念ヲ或ル行キ詰タ場合ニ於テハ疏通セシメル方法デアルマイカ、原則ト致シマシテハ勿論其土地ニ於ケル商工業者ニシテ議員タリ役員タル人ニ會頭乃至副會頭ヲ勤メテ、其業務ヲ遂行サレルト云フノハハ原則デアル、是ガ本則デアル、本則デアリマスガ諸君實際ヲ見マスルト云フト、動、トモスレバ其議員ヤ役員ノ中デ……一人シカナイ會頭、一人若クハ二人ノ副會頭、此地位ニ就ク場合ハ是ハ實際問題デアリマスガ、實際ニ於テ人材ノ缺乏ト云フ問題デナクシテ、或ハ甲乙意見ヲ異ニシテ是ガ爲ニ爭ヒテ惹起シテ、相當長イ間商業會議所ノ機能ノ本體タル仕事ヲ疎カニシタヤウナ過去ノ經驗ガアルノデアリマス、是デハナラヌ、是デハイテマセヌカラシテ今度ハ無論原則トシテハ自治……商工會議所ノ議員ヤ役員ニ會頭副會頭ヲ望ムハ當然デアリマス、サウシテ貴ハナケレバナラヌノデスガ、實際ノ事實ニ遭遇シタ場合ニ已ムヲ得ナイ時ニハ他カラ全會デ信用ノアル人、又ハ多數ノ信用アル人ヲ持テ來テ、

サウシテ此地位ニ就カシメテ、其職務ヲ行ハシムル、斯ウシタ方ガ自治ノ完全ノ能力ヲ發揮スル上ニ於テ尙ホ行キ詰タ場合ニモ疏通セシムル、斯ウ云フ便宜ガアルノデアリマス、私ハ實際ヲ顧慮シテ、サウシテ斯ク規定シタ方ガ自治ノ本體ヲ害セズシテ實效ガ上ガル、斯ウ信ジテ居リマス、今日ノ合議制度ノ會議ノ場合ハ、獨リ此商業會議所ノミナラズ、他ノ農會、村農會、郡農會等ニ於テモ斯ウ云フ問題ガ惹起スルコトガアル、ソレデアリマスカラシテ、是ガ合議制ノ會ニ於キマシテハ今申シマス農會法、或ハ水產會法、同業組合法、輸出組合法、色、他ノ法規ニ於キマシテモ同様ナル方針ヲ執リマシテ農會ト云フ自治體ニ於テ、若シモ行詰タ實際問題ニ遭遇シマシタ場合ニハ、他カラ迎ヘルト云フヤウナ風ニナッテ居ルノデアリマシテ、是ハ實際ヲ顧慮シタ問題デアル、立法デアルト思ヒマス、之ヲ動トモスルト、自治ノ權能ヲ減殺シタ如クニ御考ヘニナル方モアリマスガ、決シテサウデナイ、自治ノ權能ハ十分ニ尊重シテ、サウシテ其上ニ尙ホ行詰タ場合ヲ考慮シタノデアリマスカラ、或ハ自治ノ一層進シタ助長トモ言ヒ得ルト斯ウ思ヒマス

○委員長(子爵會我祐邦君) 本日ハ是デ以テ此質問ヲ中止致シマシテ、後日更ニ開會イタシテ、繼續スルコトニ致シマス、而シテ委員會ハ直チニ此會計検査院法中改正法律案ニ移リタイト思ヒマス……唯今カラ會計検査院法中改正法律案ニ移リマス、之ニ對シマシテ政府ノ御説明ヲ願ヒマス

○政府委員(山川端夫君) 此法案ハ極メテ簡單ナル法案デゴザイマシテ、本會議ノ節ニモ委細申上ゲテ置キマシタガ、本案ハ唯今會計検査院ノ副検査官ガ十八名居リマスノヲ二名増加シテ二十名ニスルト云フ案デ

アリマス、從來トテモ會計検査院ニ於キマシテハ會計ノ實地検査ヲ執行シテ居リマシタノデアリマス、併ナガラ此會計検査ノ實效ヲ奏スル爲ニハ、成ルベク實地検査ノ回数ヲ多クスルノガ必要デアリマスシ、又近來各省ノ事務ガ段々複雑ヲ加ヘテ來マシタ結果、實地検査ト云フ必要ヲ一層痛切ニ感ズルノデアリマス、ソレデ此會計検査ノ實效ヲ尙ホ一層ヨリ能ク舉ゲル爲ニ、實地検査ノ方ニ重キヲ置キマシテ、從來ハ四年半ニ一回位シカ出來ナカッタノデアリマス、ソレヲ成ルベク頻繁ニト云フコトデ、四年弱ニ一回検査ヲ實行スルコトニ致シタイト云フノデ、今回副検査官二名ヲ増員セムトスル次第デゴザイマス、ドウゾ御審議ノ上御協賛アラシコトヲ希望イタシマス

○和田彦次郎君 質問イタシマスガ、無論結構ナコトデゴザイマス、二名ダケヲオ殖ヤシニナルト云フコトガ必要ニ應ジテデゴザイマセウガ、二名デ増員ハ足ルノデゴザイマセウカ、世間ニ謂フ機密費ニ對スル検査ナドヲナサルニハ、逆モ是デハ足リマイト思ヒマス、十名モオ殖ヤシニナリマシテ事前ノ監督等十分ニオヤリニナル御考ハナイカ、此邊ヲチヨット伺ヒマス

○政府委員(山川端夫君) 今日ノ所デハ副検査官二名増員ト云フコトデ先ツ足リルト云フ積リデ提案イタシタノデゴザイマス、此外ニ法律ノ關係デゴザイマセヌカラ是ガ出テ居リマセヌケレドモ、書記モ之ニ伴ヒマシテ四名殖ヤスト云フコトニ致シテ居ルノデアリマス、多イノハ無論多ク益、辨ズルノデアリマセウケレドモ、先ヅ今日ノ場合ニ於キマシテハ二名増加シマシテ、實地検査ヲヤル所ノヤリ口ヲ變ヘマシテ、成ルベク頻繁ニ實行シテ行キタイト斯ウ考ヘテ居リマス、唯今御話ニナリマシタ機密費ノ

問題ハ少シ別ノ問題ト思ヒテ居リマスガ、機密費ノ検査ト云フコトニ付テハ色々問題ガアルドラウト思ヒマス、ソコハ、サウ云フ機密費ノ検査ヲ實行スルト云フヤウナコトハ今日ハ考ヘテ居リマセヌ、ソレカラ又事前検査ノ御話モアッタヤウデアリマスガ、事前検査ノ方ニ付キマシテハ、是ハ極メテ必要ナコトデアリマスケレドモ、之ヲ實行スルニ於キマシテ色々ナ點ヲ考慮シナクテオラハヌヤウナ事情モアリマスノデ、ソレデ政府デハ大正十四年デアリマシタカ、先ヅ大藏省デ事前検査ノコトニ關スル特別委員會ヲ造リマシテ、サウシテ研究ヲ致シタノデアリマス、併シ實地検査ヲヤル、之ヲ執行スルコトガ適當デアルト云フ主義ハ認メマシタガ、ドウ云フ機關ニ於テ之ヲ検査スル、或ハドウ云フ範圍ニ於テヤル、ドウ云フ方法ニ於テヤルト云フコトニ付テ色々ナ問題モ起リマシタノデアリマス、是ハ各省ニ直接ノ關係ガアリマスノデ、非常ニ各省ノ間ニモ圓滿ニ之ヲ實行シナケレバ、折角設ケマシテモ實行出來ナイ關係モアリマスノデ、ソレデ大藏省ノ委員會ハ一時打切りマシテ、行政調査會ノ方ニ移シテ今研究中デアリマス、行政調査會ニ於キマテモ引續キ色々ナ材料……豫算ノ實行ニ當リマシテ總テ事前検査ト云フモノハ隨分大變ナコトデアリマス、検査ヲスル機關ト云フモノモ餘程大キナモノヲ設ケナケレバナラヌシ、ソレカラ又之ニ要スル時日等モ可ナリカカルノデアリマスカラ、事務ノ簡捷ヲ期スルト云フ上カラ見マス、餘ホ其點ハ考慮スベキ點モアルノデアリマス、ソレデ全部デナクトモ主ナルモノダケト云フコトニ致シマシテモ、可ナリ其事柄ガ多クナリマス、從來會計検査院デ不當ナリトカ違法ナリトカ云フテ、検査報告ニ上ボッテ居ル數ト比

較シテ見マス、ソレハ極メテ僅カ……全體カラ言ヒマス、僅カノコトニナッテ居リマス、サウ云フヤウナ關係カラ致シマシテ、ドウ云フ風ニ之ヲ實行シタ方ガ宜イカ、ドウ云フ機關ニ於テ、之ヲ假ニ行フトスレバ掌ラシメタ方ガ宜イカト云フコトニ付テ、目下熱心ニ研究ヲ致シツツアルノデ、マダ果シテドウ云フ風ニシテ宜イカト云フコトノ結論マデハ達シマセヌガ、サウ云フ狀況デアリマス

○田村新吉君 本改正案ニ同意ヲ表シマス

○森平兵衛君 是ハ豫算ニ對シテハドレダケノ額ガ計上シテアリマスカ、私ハチヨット豫算ヲ十分調査シマセナシテ分リマセヌガ、今長官ノ御話デハハニ名、或ハ書記ヲ四名ト云フコトデアリマスカ、全體ニ於テ幾ラ程ノ金額ニナリマスカ

○政府委員(山川端夫君) 全體デ二万五千四百圓デアリマス、俸給ガ九千四百八十圓、事務費ガ一万一千六十圓デス

○森平兵衛君 詰リ此法規ヲ改正シタ爲メ増加スルモノガ二万五千四百圓、斯ウ承知イタシテ宜シウゴザイマスカ

○政府委員(山川端夫君) 左様デゴザイマスカ

○委員長(子爵會我祐邦君) 私ガ一ツ御伺ヒシタイノデゴザイマスカ、此實地検査ト云フノハ、此四年ニ一回位ノ検査デ十分デゴザイマセウカ、四年半ガ一回デアルモノヲ二人増シタ爲ニ四年弱ニナルト云フコトガ、非常ニ必要ナコトデアレバ、此四年ナルモノヲ更ニ縮メテ行クト云フヤウナコトニスルニハ、モウ少シバカリノ人間ヲ殖ヤシタラ出来ルモノデヤナイデセウカ、ドウデセウカ

○政府委員(山川端夫君) 之ヲモット年限ヲ縮メルト云フコトニ致シマスレバ、餘ホ

ド人ノ數ヲズット殖ヤサナクチャイケマセヌ、ソレデ是デモ、細カニ検査ヲ要スベキ場所等ヲ計算イタシマシテ、ソレデ從來ノ検査ヨリモ少シ實地検査ニ當ル……各検査官ガ當ル日數ヲ増加イタシマシテ、サウシテ成ルベク出来得ル限リノ所ニ實行イタシマシテ、四年弱ニ一回ト云フコトニ致シタノデアリマス、先ニモ申シマス通りニ、多クスレバ無論モット頻繁ニヤリ得ル次第デアリマスケレドモ、先ヅ今日ノ所デハ此程度デ進ンデ丁度宜クハナイカ、斯ウ云フ積リデ提案イタシタ次第デゴザイマス

○委員長(子爵會我祐邦君) モウ一ツ伺ヒマス、四年位デ差支ナイモノデゴザイマセウカ、其検査ハ餘リ古クナリ過ギテ居リハシマセヌカ、サウデハアリマセヌカ

○政府委員(河田烈君) 四年位デスル關係ニ於テ十分デアアルカト云フ、先ヅ第一ノ御尋ネデゴザイマスカ、是ハ程度ノ問題デゴザイマシテ、ソレハ一年ニ二巡シテ悉ク出来ルナラバ一番周密デゴザイマセウカ、併シ會計検査官ノ検査ト云フモノハ、毎年々々一巡スルト云フコトモデス、亦相當ノ時日ヲ要シマスカラ、執行官ノ方カラ言ヒマスレバサウ云フ検査ト云フコトモ、検査官ガ検査ヲ引受ケル爲ニ人ガ置イテアル譯デハゴザイマセヌカラ、餘リ頻繁ト云フコトモ如何カトモ考ヘマス、併シ二年ニ一回ナラバ是ヨリ一層實地検査ノ緊密ニナルト云フコトハ無論デアリマスカ、併シ私共モ必ズシモ四年デ十分トハ言ヘマセヌガ、然ラバトテ必ズ一年ニ一巡シナケレバイカヌト云フコトモドウカト思ヒマス、ソコハ程度ノ問題ダト思ヒマス、後段ハ四年ニ一回ト云フコトハ餘リ古クナリハシナイカト云フ御話デゴザイマスケレドモ、此目的ハ實地検査デ、實地検査ヲ四年ニ一回デス、今迄ハ

四年半ト云フ妙ナ半バナ計算ニナッテ居リマシタケレドモ、先ヅ四年弱ニハ實地検査ガ一巡出来ルト云フ計畫ニナッテ居リマス、書面検査ハ一年一年ニ致シマス、デ検査スル事柄ガ、四年前ノ四年後ニ検査スルト云フコトデハナイノデアリマス

○委員長(子爵會我祐邦君) モウ一ツ伺ヒマス、此人數ト云フモノハ、會計検査院ノ定員ト申シマセウカ……定員ナルモノハ、現在アリマスモノハ何年頃ニ定メラレタモノデアリマシテ、其時代ノ豫算ノ額ハドウ位ノモノデアッタノデアリマスカ

○政府委員(山川端夫君) 近頃ノ人員ノナニヲ申上ダマス、最近ハ院長一名、部長三名、検査官十二名、副検査官十八名、斯ウナッテ居リマス、ソレカラ大正十年ノ時ニ改正シマシテ……ソレヨリ少シ前カラ言ヒマス、大正二年カラノ調ヲ有テ居リマスガ、大正二年ノ時ニハ部長二名、検査官八名、副検査官十六名、ソレカラ大正五年ニ副検査官十四名ニ減ジマシテ、ソレカラ大正八年ニ副検査官十七名ニ増シマシテ、ソレカラ大正十年ニハ部長三名、検査官十二名、副検査官二十五名、斯ウ云フコトニナッテ居リマス

○委員長(子爵會我祐邦君) モウ一ツ伺ヒマス、此機密費問題ナルモノニ付テハ、無論御承知ノ通り世間ヲ騒ガシ、又色ナ國民ノ上ニ疑感モ貽テ居ルノデアリマスカ、過日豫算總會デアッタカト思ヒマスガ、大藏大臣デアリマシタカノ御説明ニモ、將來ハソレニ付テ何トカ機密費ノ検査ト云フコトニ付テモ考ヘテ居ルトカ仰セラレタヤウニ、自分ハ傍聴シテ居テ承タヤウニ記憶シテ居リマスガ、然ルニ此際ニ於キマシテ、此會計検査院法ノ第二十三條デアリマス、政府ノ機密費ニ關スル計算ハ會計

検査院ニ於テ検査ヲ行フ限リニアラズ、ト云フコトガアルヤウニ存ジテ居リマスガ、之ヲ唯今ノ御話ダト、定員ヲドウセ殖ヤサナケレバ機密費ノヤウナ問題マデモ堪ラヌト云フコトデスガ、是ハ報告ヲ取ルト云フヤウナ所マデ之ヲ進メルト云フノ御考ハゴザイマスマイカ、例ヘバ唯今ノ第二十三條ノ第二項ヘ持テ來テ、機密費ニ關シテハ各省ヨリ毎年四月三十日ノ末日其項目金額ヲ祕密事項トシテ會計検査院長ニ報告スルモノトス、ト云フヤウナモノデモ御加ヘニナリマシタナラバ、非常ニ天下ノ疑問デアリマス所ノ機密費問題ノ如キモノ國民ハ安心シ、且ツ又會計検査院トシテモ、其報告ニ接スルダケ……祕密ニ報告ニ接スルノデアリマスカラ漏レル心配ハアリマセヌ、又一方カラ機密費ノ性能ト云フモノヲ失ハシムルコトナクシテ使ハシムルコトニナルノデアリマスガ、現實ノ問題トシテ、刻下ノ重大問題トシテ、斯カル一項ヲ御加ヘニナルヤウナ御考ハアリマスマイカ

○政府委員(山川端夫君) 機密費問題ニ付テハ、既ニ大藏大臣カラ御説明モアリマシタ通り、唯今政府デ研究ヲ致シテ居リマスノデ、ソレデ此機密費ノ假リニ検査ヲ致シマストシマシテモ、人員ノ方ニハ餘リ大シク關係ハ起ルマイト思ヒマス、日獨戰爭ノ際ノ大キナ機密費ト云フモノハ、ホンノアレハ例外ノ場合デアリマス、普通ハ機密費ト申シマシテモ餘リ大シクコトハアリマセヌ、ソレデ機密費ノコトハ之ヲ事前ナリ、事後ナリニ検査スルト云フコトハ機密費ノ性能ト果シテ兩立シ得ルカドウカト云フ點モ十分研究ハスル必要ガアリマシ、ソレカラ又假リニドウ云フ風ニシタラ機密費ノ濫用ト云フノガ、若シアリトスレバソレヲ取締ルコトガ出来ルカ此點ニ付テ

ハ只今専ラ研究中デアリマス、ソレデマダ政府ノ意見トシテハ決シナイ際デアリマス、此際其問題ニ付テ直チニ改正ヲスルト云フコトニ付テハドウモ政府トシテハ茲ニ御同意イタシ兼ネルノデアリマス、モウ少シ政府デ研究ヲ續ケマシテ若シ適當ナ案ガアレバ其時ニ改メテ御考慮ヲ願ヒタイト云フ考ヲ持ッテ居リマス

○和田彦次郎君 チョットモウ一ツ伺ヒマスガ、現在デハ四年目ニ一回ノ検査ヲ終了スルヤウニ伺ヒマシタ、是ハ何モ四年ニ一回ヲスル方ガ都合ガ好イト云フ理由ノアル譯ダラウトモ思ヘマセヌ、ト云フノハ從前ハ別ト致シマシテ近年ハ如何ナ内閣モ四年イタシマスレバ大抵變テ仕舞ヒマス、ソレデ検査ノ結果違法ノ點ガゴザイマシテモモウ其内閣ト云フモノハ替テ仕舞フ、ソレデ殆ド影ノナイ所ニ向ッテ、弊ヲ矯メルト云フノガ將來ヲ戒メルト云フコトニ過ナイ結果ニナッテ仕舞フ、使タモノハ使ッテ出タノデアルト云フ風ナコトニナリマシテ、検査ノ結果十分ニ警戒ヲ加ヘ其非ナル所ヲ質スニハ出來ルナラバ其内閣ノ命脈ノアル内ニ之ヲ十分ニ質スト云フコトガ最も我々ガ希望スル所デアリマス、併シ是カラ先ニ一年經テモ三年經テモ變ラヌ内閣ガアルカモ知レマセヌ、一概ニハ言ヘマセヌケテレドモ、四年ト云フノハ餘リ長過ぎテ居ル、セメテ二年位ニ一回ト云フコトニシマセヌト、法律トシテハ立派ナ検査法ガアル、議會ニ向ッテ報告シ、且ツ議會ガ之ヲ審査シテ其正否ヲ鑑別シ、議スベキコトハ議スルト云フ權能モアル、實ハ法律トシテハ立派デス、立派デスガ實際ハドウカト云フト鳥ノ立タ後彈込騒ギヲ始メルト云フヤウニ、イツモ内閣ハ逃ゲテ仕舞フ、其後カラ彈込ヲシテ打ッテ居ル、其前ニハドウ

カト云フト不都合デアッタ、叱リ置クト云フヤウナ話デ、ドウモセヌヨリハ宜イノデスガ、スル以上ハ效能ガアルヤウニ致スオ考ハ現内閣ニ於テオ持チニナラヌデセウカ、其ノ點ヲチヨット伺ヒタイ

○政府委員(山川端夫君) 實地検査ノ方ハ決算ノ法支見タイニ事後ニ検査ヲスルト云フノデアリマセヌ、豫算ヲ執行スルニ付キマシテ、ソレヲ實地ニ當ッテ會計検査院デ見ル、ソレデ從來ノ例ニ見マシテモ實地検査ヲ致シマシタ爲ニ豫算ヲ執行スル際ニ間違タコトヲ指摘スル、或ハ矯正スルト云フヤウナコトハ幾ツモ例ガアル、會計検査院デ調べマシタ物ヲ何シマスレバ最近ノ會計検査院デ検査ノ報告ノ中ニ載リマシタノガ會計検査報告ノ十四年度ガ百六十一、十三年度ガ八十、件數ダケデ、其中ニ實地検査ニ依ッテ實際指摘シ調査シタ件數ガ十四年度ノ中ニハ八十六、百六十一ノ中ニハ十六、ソレカラ八十ノ中ニ五十六、サウ云フ風ニ四年目デアリマスケレドモ、ズット仕事ガ進ンダ後デ調べルト云フノデアアリマセヌ、豫算ヲ執行スル上ニ於テ實地検査ヲ致シマシテ、サウシテ其惡イ所ヲ質シテ行キタイト云フ趣意デアリマスカラ、尙ホ此コトハ私ヨリ或ハ主計局長カラ詳シク申上ダマスレバ宜クオ分ニナルト思ヒマス

○政府委員(河田烈君) 大體只今他ノ政府委員カラオ答シマシタ通りナノデアリマスカ、只今和田サンノ御質問ヲ伺ッテ見マス、先刻私ガ此點ニ付テ申上ダタ通りデアリマス、丁度委員長ノ御質問ガアリマシタ際ニ、四年後ニ遅レルト云フ譯デハナイト申上ダタノデアリマスカ、検査ハ毎年矢張り致シマス、ソレデスカラ只今詰リ是ハ御質問デアリマセヌデシタケレドモ、政府ガ交迭シテ仕舞ッテカラ検査報告ヲ見テモ

仕方ガナイト云フヲ話デスガ、毎年々々ノ検査ハ是ハ机上検査デアリマスケレドモ、是ハ甲年度ノ分ヲ乙年度デ検査ヲシ、丙年度ノ豫算ヲ出ス場合ニ検査ヲスルコトニナッテ居ル、更ニ具體的ニ申上ダマスルト大正十四年度ノ決算、之ヲ今期議會、大正十五年度ノ末ニ開カレル議會ニ提出シテ昭和二年度即チ大正十六年度ノ豫算ヲ提出スル時ニ提出スルコトニナッテ居ルノデアリマス、是ハ全部検査ヲ致シマス、悉ク机上デ検査ヲ致シマス、會計検査院デ書類ヲ取寄セマシテ検査ヲ致シマス、極ク原則カラ申シマス、検査ハ會計検査院法第十三條ニ載ッテ居ル所ノ事項ニ付キマシテハ悉ク検査ヲスルノデアリマス、併シ悉ク各省デ扱ヒマシタ書類ニ依リ、會計検査院ニ提出セシメルト云フコトハ實際出來マセヌ、又或ル仕事ノ進行中ニ會計検査院ニ書類ヲ引上ダマス時ニハ仕事ガ一向出來マセヌカラ、其中ニ例外ヲ認メマシテ、或ハ検査ノ上級官廳ニ委託スルコトガアル、是ハ宜ク私ヨリモ御承知デアリマセウガ、検査院ニ提出スベキ所ノ證據書類ヲ選定ヲシテ通知ヲナシ、後ノ物ハ是レノ物ヲ提出セヨト毎年違タモノヲ取寄セマス、ソレデ悉ク一應検査ヲスルノデアリマス、其外ニ尙ホ實地ニ付テ検査ヲスル、即チ出張シテ實地ニ付テ検査スル、サウシテズット一巡スルノガ四年デアリマシテ、是ハ毎年毎年調べテ居リマス、而シテ實地ニ付テ検査スルノハ四年デ一回十分デアリヤト云フ御話デアリマスレバ、之ヲ頻繁ナラシムルコトガ政府ハ決シテ惡イト思ッテ居ル譯デアリマセヌガ、マア四年カ四年半ニ検査ヲスルコトニナッテ居リマスカラ、サウ半端デナク四年位デ一巡スルト云フ計畫ヲ以テ、此法律ヲ提出シタ所以デアリマス、机上検査ヲ

シテ居リ乍ラ又實地検査ヲスルト云フコトガ效能ノアリヤト云フコトハ喋々イタシマス迄モナク、效能ガアルコトハ申ス迄モナイ、只今山川法制局長官カラ申シマシタ、前ニ證據書類ヲ提出セシメテ、提出シナイ書類ハ實地ニ行ケバ一層宜ク検査ガ出來マス、既ニ經過シタ所ノ年度ノ書類ニ付テモ検査ヲ致シマス、既ニ經過シタ所ノ年度ノ書類ニ付キマシテ實地検査ヲスルト同時ニ、矢張り進行中ノ物ニ付キマシテモ関連シテ居ル物ガアリマスレバ、ソレノ書類ヲ提出イタサセマシテ實地検査ヲ致シマス、尙ホ進ンデ例ヘバ工事ノ如キ、是ガ工事中デアリマスレバ其實地ニ付テヤル、斯クシテ竣工シタ物ニ付テモ實地ニ付テ見マスト書類トハ違ッテ居ルコトガアル、報告ト違タ所ヲ發見イタシマスカラ、之ヲ審問イタスト云フコトモアリマス、現ニ建築中ノ物ニ付キマシテソコニ検査官ガ参リマスカラ、是ハマダ濟マナイカラ出來ナイト云フコトハ出來マセヌ、此進行中ノ物モ検査ノ仕様モアリマスカラ、其爲ニ往々經費ノ支出上當ヲ得ザルコトヲ發見イタシマシテ、修正セシメ若クハ審問スルト云フコトノ利益ハ澤山ニアル譯デアリマス、サウ云フ次第デゴザイマスノデ僅カノ者デ四年半カ四年位デ何ノ效モナイト云フ御感想ガアルカ知レマセヌガ、矢張り僅カナガ實地検査ヲ致シマスコトガ此點カラ申シマシテモ非常ニ政府ニ取リマシテモ都合ノ好イコトト思ヒマスノデ、相當效果ガアルコトト考ヘテ居リマス、ソレカラ是ハ既ニ法制局長官カラ御答ヲ致シテ居リマスガ、先刻委員長カラノ御質問ノ機密費ノ點デゴザイマスカ、是ハ多分サウ云フ御意味デハナカッタカト思ヒマスガ、承ッテ居ルト云フト一寸氣付キマシテ一ツ補足イタシタイト思ヒマス

ノハ、二十三條ニ於ケル機密費ハ検査スル
限リニアラズ何トカ訂正スル氣ハナイカ
ト云フ御話デゴザイマスガ、唯今腹案トシ
テ御話シニナリマシタヤウナ意味デ唯機密
費ノ計算ヲ提テスルト云フ御趣旨ガ、單ニ
決算ヲ示スト云フコトデアレバ、是ハ矢張
リ今ノ民法デモ決算ノ報告ヲ致シマス、機
密費ト雖モ決算ハ作リマス、只其内容ニ付
キマシテ證明スル必要ガナイ、検査院ガ内
容ニ立入ッテ調べルコトガ出来マセヌダケ
デアリマス、形式ハ決算報告ハ致スノデア
リマス

○委員長(子爵會我祐邦君) 一寸只今ノ御
説明ノ機密費ノ問題デアリマス、總額ダケ
決算總會ニ於テ現ハスノデゴザイマスガ、
私ガ申シマシタノハドウ云フ項目カ、其項
目ト金額ヲ機密事項トシテ會計検査院ニ報
告スルヤウニシタラ一步進メテ宜クハナイ
カ、斯ウ思ッテ申上ゲタノデアリマス

○和田彦次郎君 採決ヲ願ヒマス

○委員長(子爵會我祐邦君) モウ御質問ハ
ゴザイマセヌカ……質問ハ是デ打切りマス、
只今カラ討論ニ移リタイト思ヒマス

〔「原案賛成」ト呼フ者アリ〕

○委員長(子爵會我祐邦君) 原案賛成ト云
フコトニ付テ御異議ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○委員長(子爵會我祐邦君) 満場一致原案
賛成ト認メマス、是デ閉會致シマス

午後二時五十三分散會

出席者左ノ如シ

委員長 子爵會我 祐邦君

副委員長 和田彦次郎君

委員

男爵伊藤 文吉君

永田 仁助君

田村 新吉君

國務大臣

商工大臣 藤澤幾之輔君

政府委員

法制局長官 山川 端夫君

大藏省主計局長 河田 烈君

商工參與官 野村 嘉六君

商工書記官 吉野 信次君

森 平兵衛君

松本勝太郎君